

(5) 子どもの心身の状態

子どもの健康状態について、困窮家庭で『よくない』（「よくない」と「あまりよくない」の合計）が16.1%で他の区分と比べてやや多い。

自己肯定感は、困窮家庭で全体的にやや低く、孤独を感じる割合もやや高い。

①子どもの健康状態

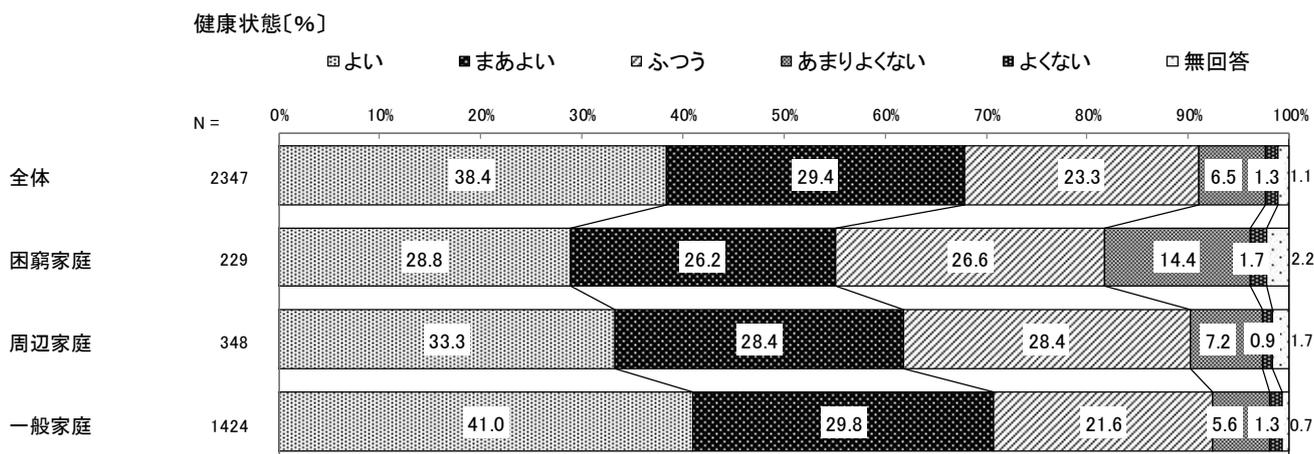
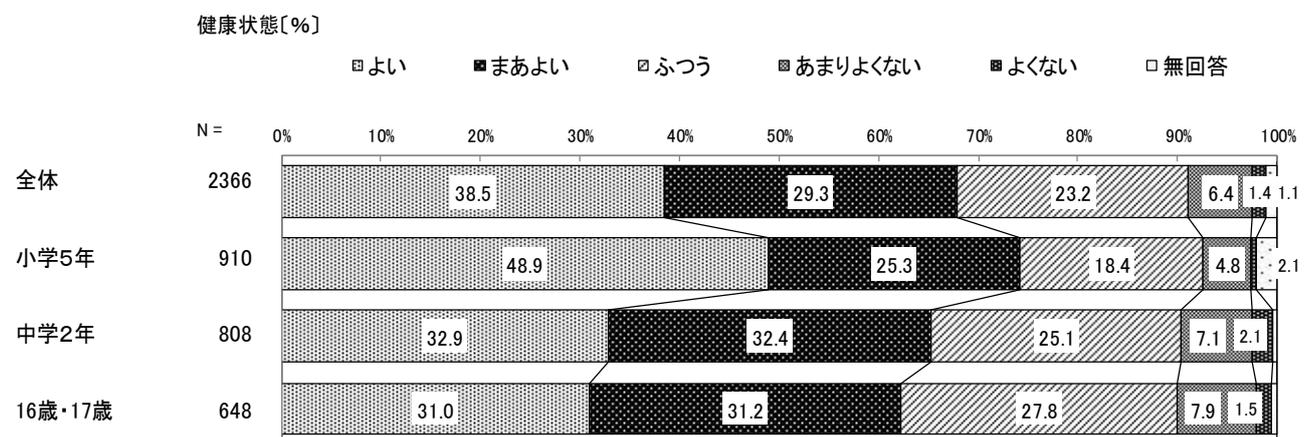
問 79 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。

子ども本人の回答では、全体では『よい』（「よい」「まあよい」の合計）が67.8%と多く、小学5年は『よい』が74.2%と他の学年に比べて多い。困窮家庭で『よい』は55.0%と少なく、『よくない』が16.1%と多い。

保護者からみた子どもの健康状態は、全体では子ども本人の回答に比べて『よい』が81.1%と多い。学年別では、学年が上がる『よい』が少なくなり、16歳・17歳は72.0%である。

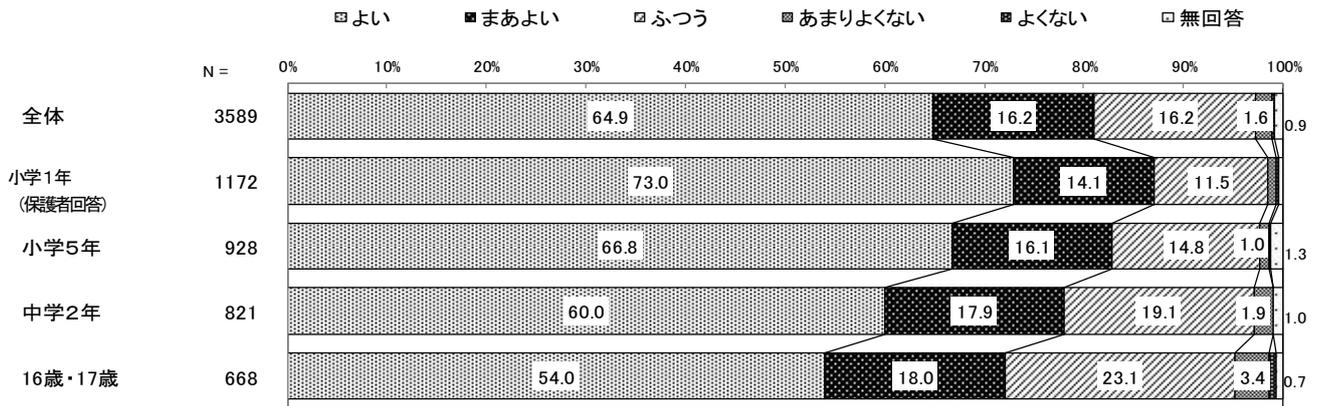
困窮家庭は、『よい』が69.8%と一般家庭(83.7%)より少ない。

[子ども自身の健康状態]

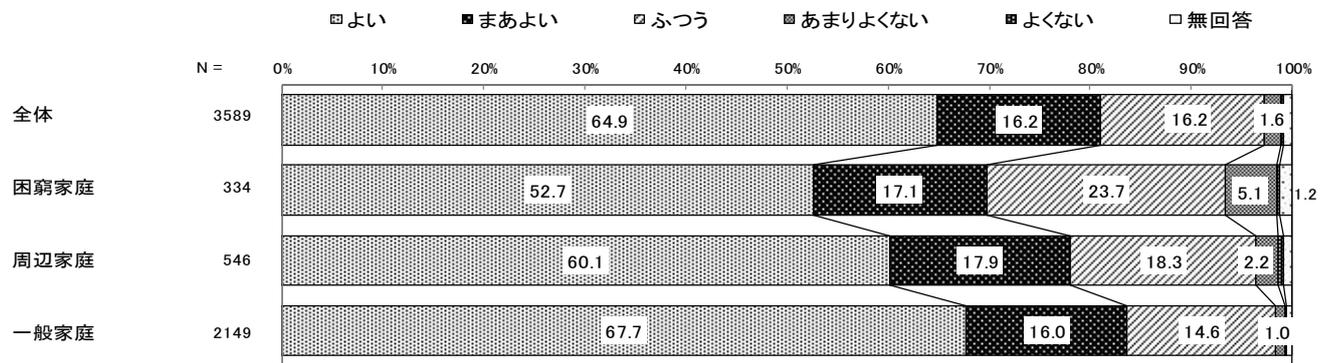


[保護者からみた子どもの健康状態] (全員保護者の回答)

(保護者からみた子どもの)健康状態[%]



健康状態(子)[%]

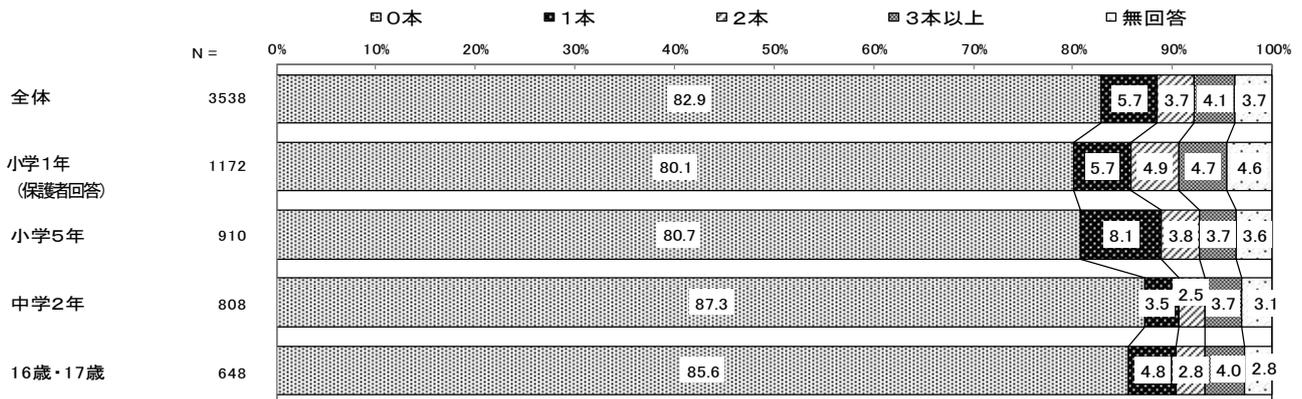


問 80 あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。治療中のものも含まます。

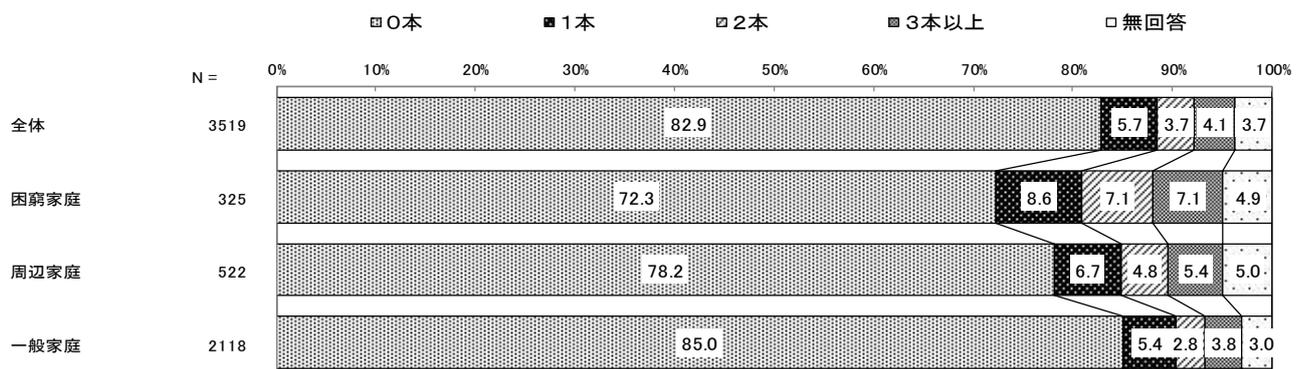
学年別の全体では、「0本」が82.9%と多くを占めており、むし歯のある子どもが13.5%で、平均0.25本である。小学1年・5年は「0本」が80%程度とやや少ない。

困窮家庭で「0本」が72.3%、周辺家庭で78.2%とやや少ない。

虫歯の有無[%]



虫歯の有無[%]



②自己肯定感・今の気持ち

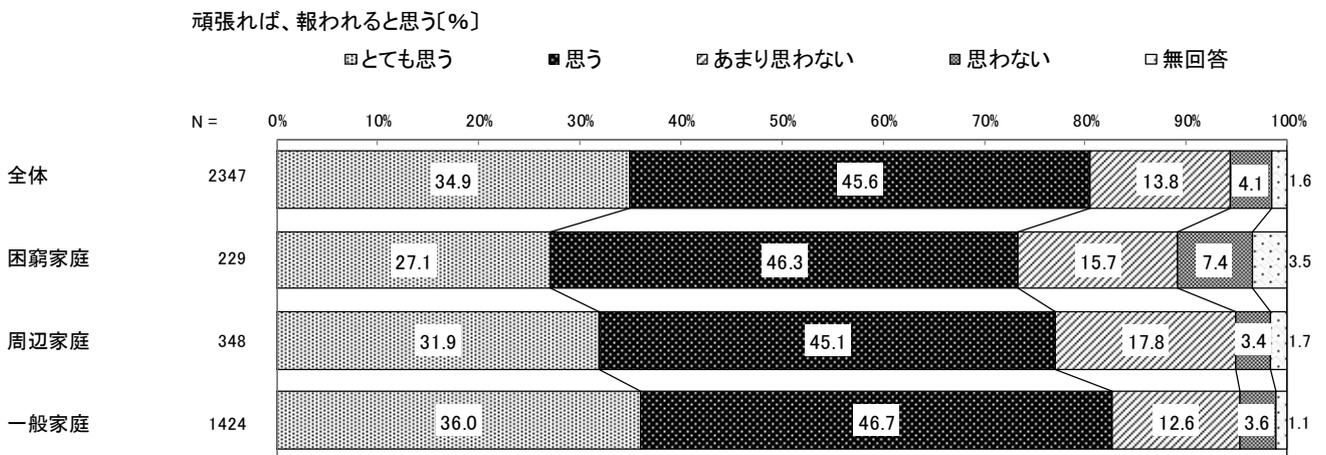
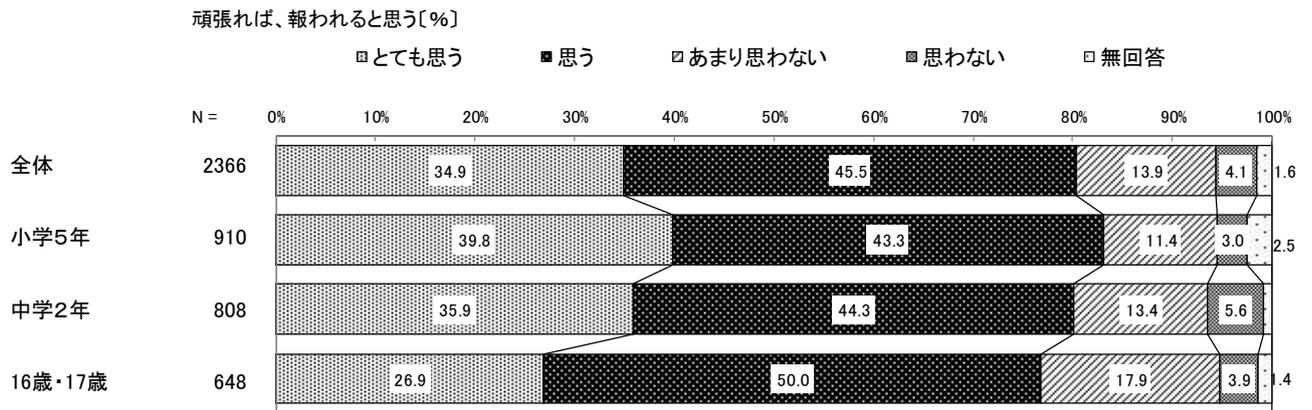
自己肯定感に関する7項目では、自分は価値のある人間だと『思う』（「とても思う」「思う」の合計）は、全体では60.9%だが、年齢が上がるとともに少なくなり、16歳・17歳は54.5%である。また、困窮家庭では『思う』が46.7%と少ない。

自分のことが好きだと『思う』も、全体では54.5%だが、16歳・17歳は46.6%、困窮家庭は43.3%と少ない。

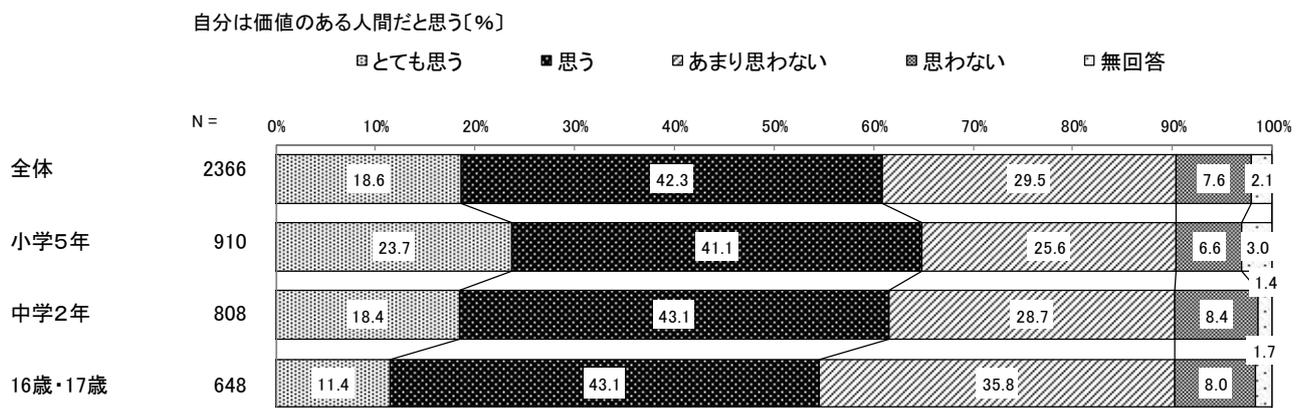
問 81 あなたの思いや気持ちについて教えてください。

[自己肯定感]

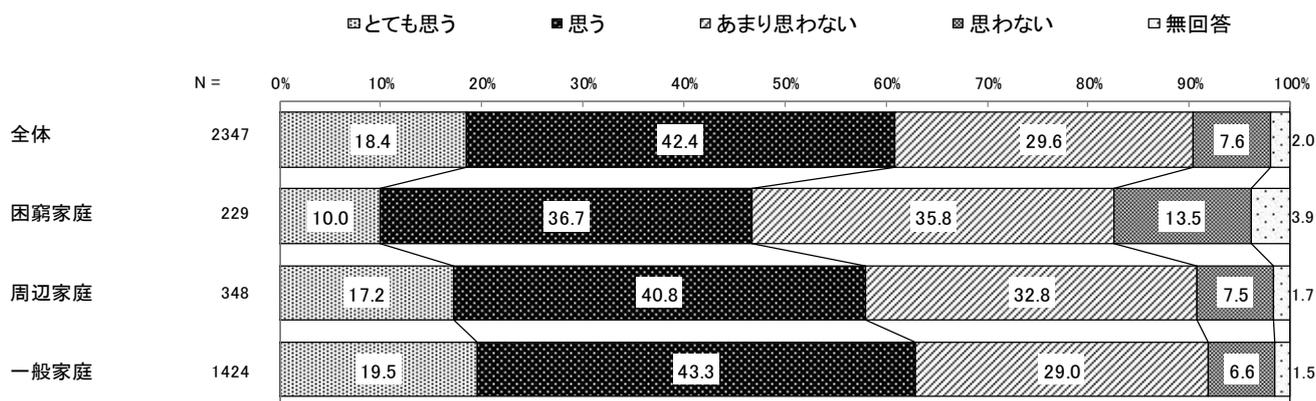
1) 頑張れば、報われると思う



2) 自分は価値のある人間だと思う

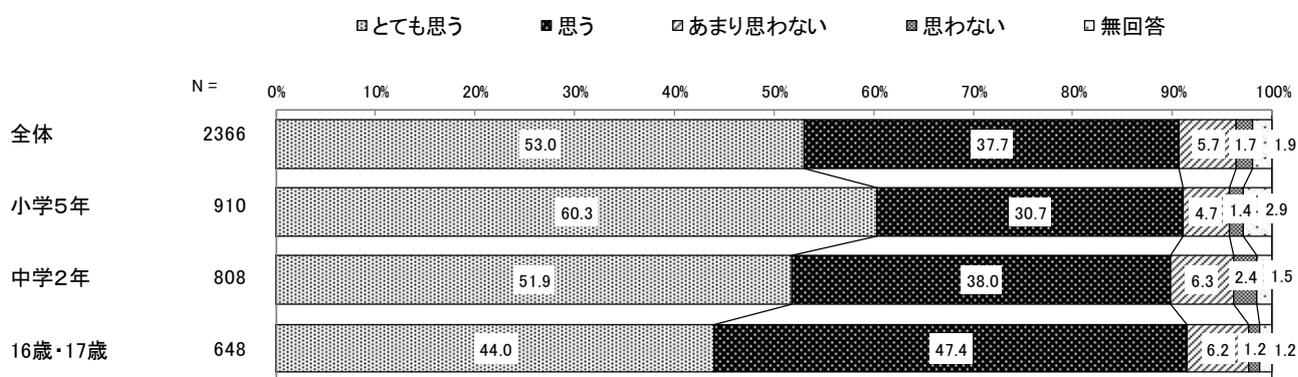


自分は価値のある人間だと思う【%】

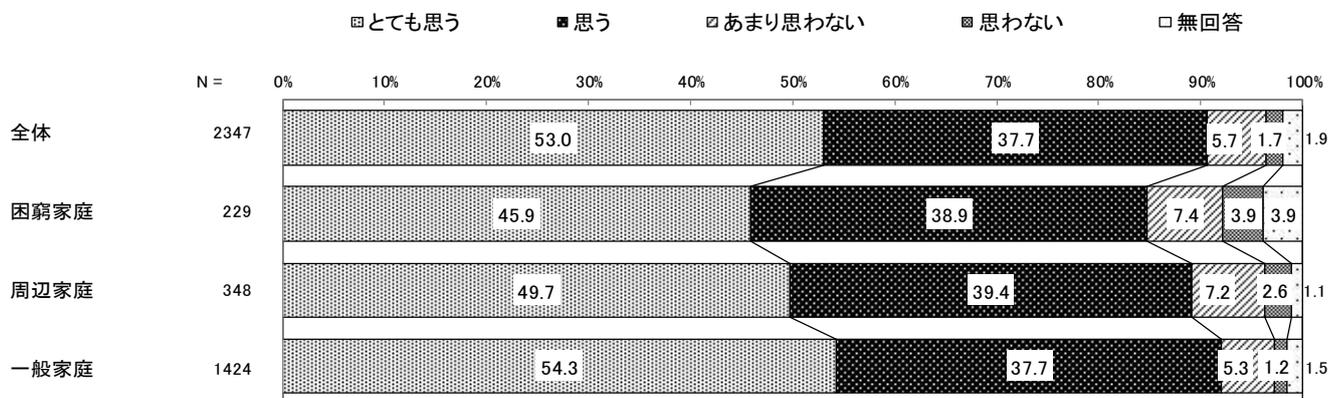


3) 自分は家族に大事にされていると思う

自分は家族に大事にされていると思う【%】

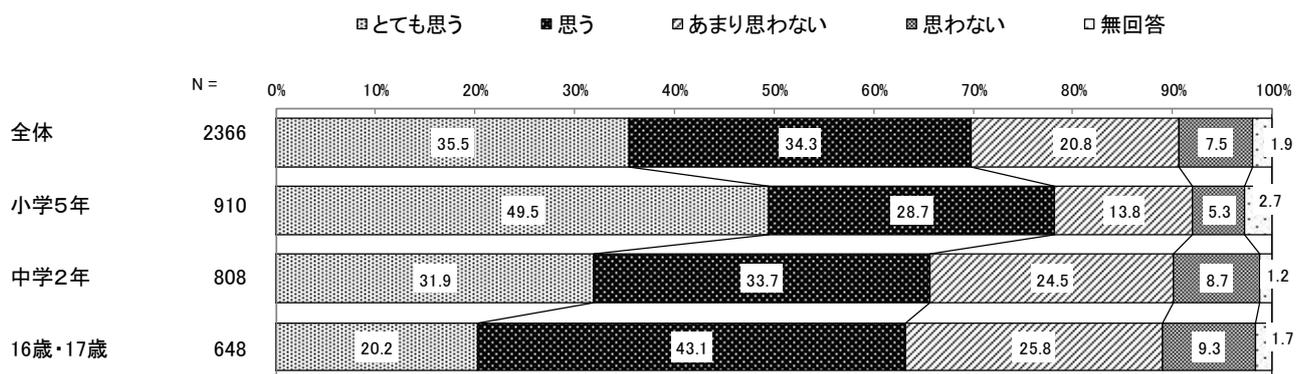


自分は家族に大事にされていると思う【%】

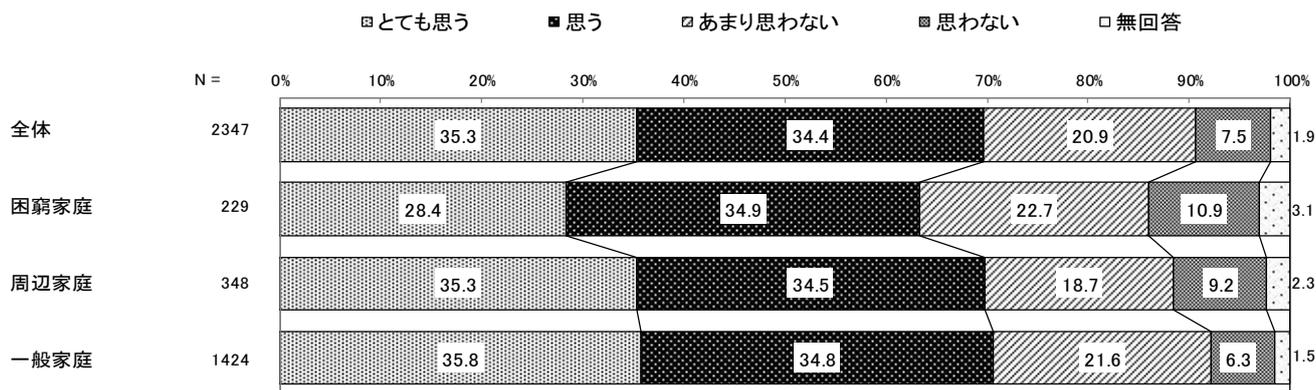


4) 自分の将来が楽しみだ

自分の将来が楽しみだ【%】

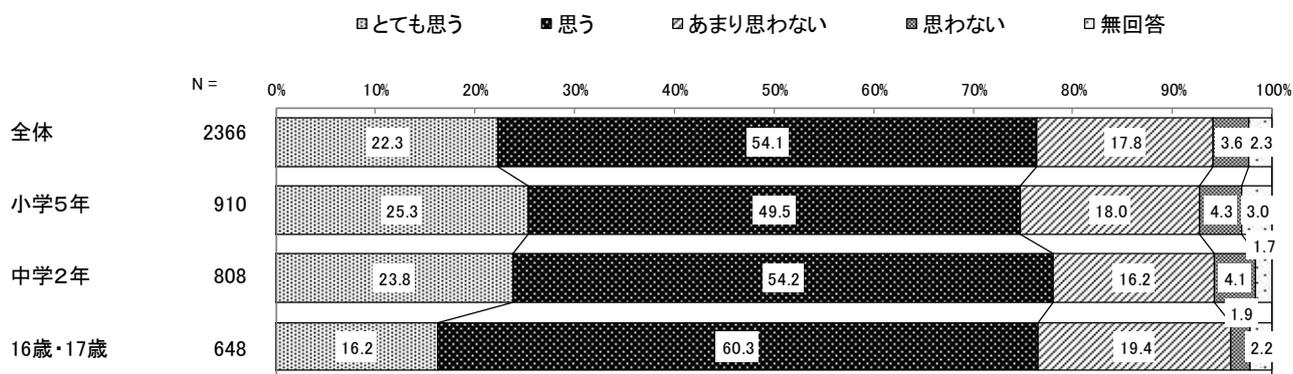


自分の将来が楽しみだ[%]

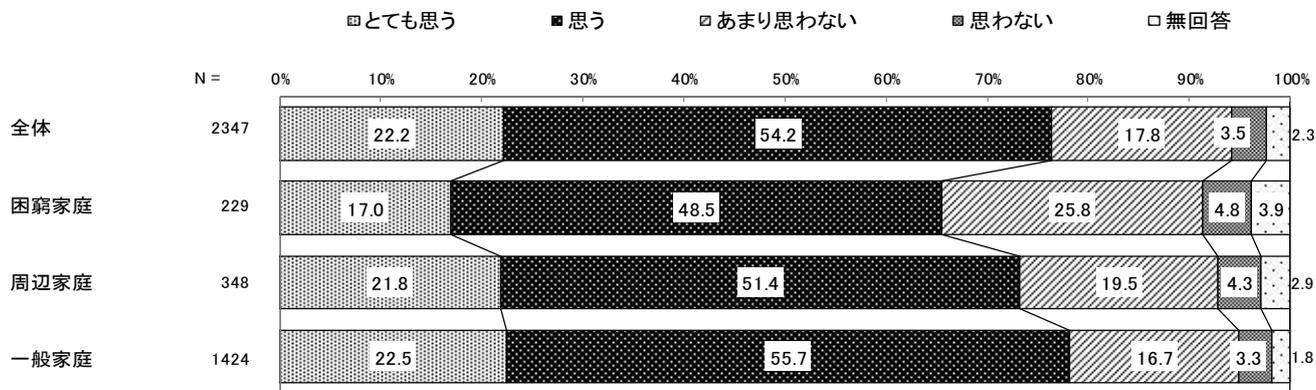


5) 自分は友達に好かれていると思う

自分は友達に好かれていると思う[%]

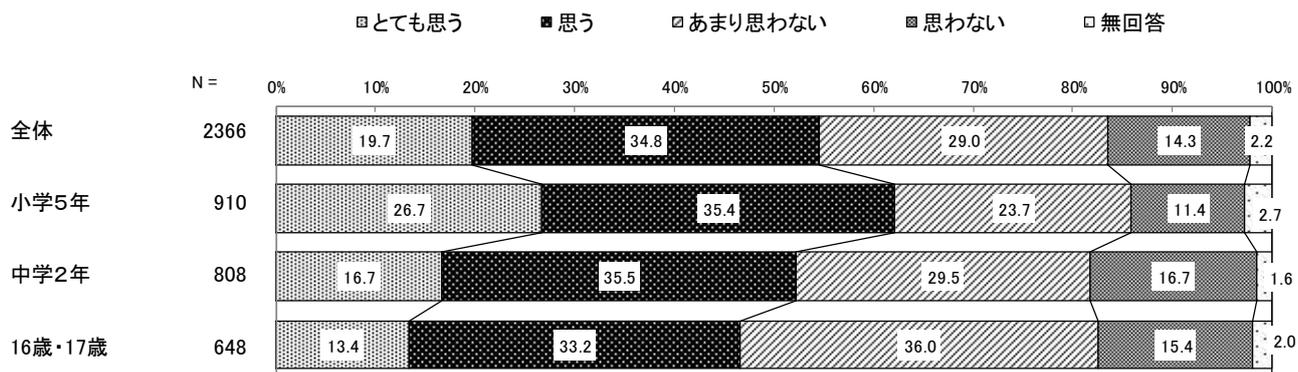


自分は友達に好かれていると思う[%]

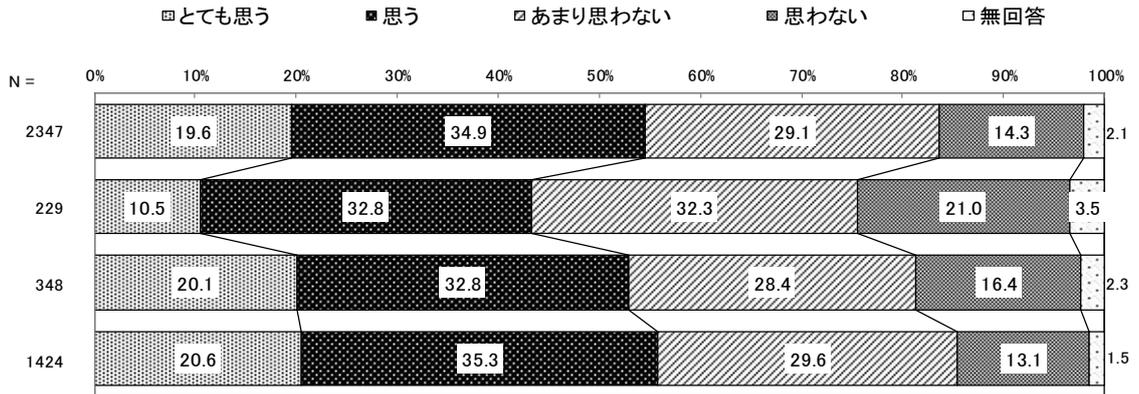


6) 自分のことが好きだ

自分のことが好きだ[%]



自分のことが好きだ【%】

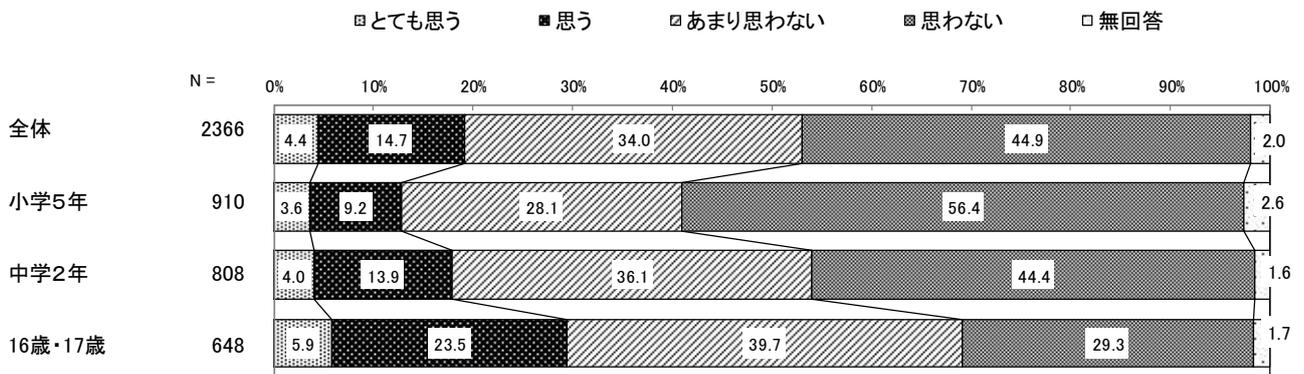


【孤独感】

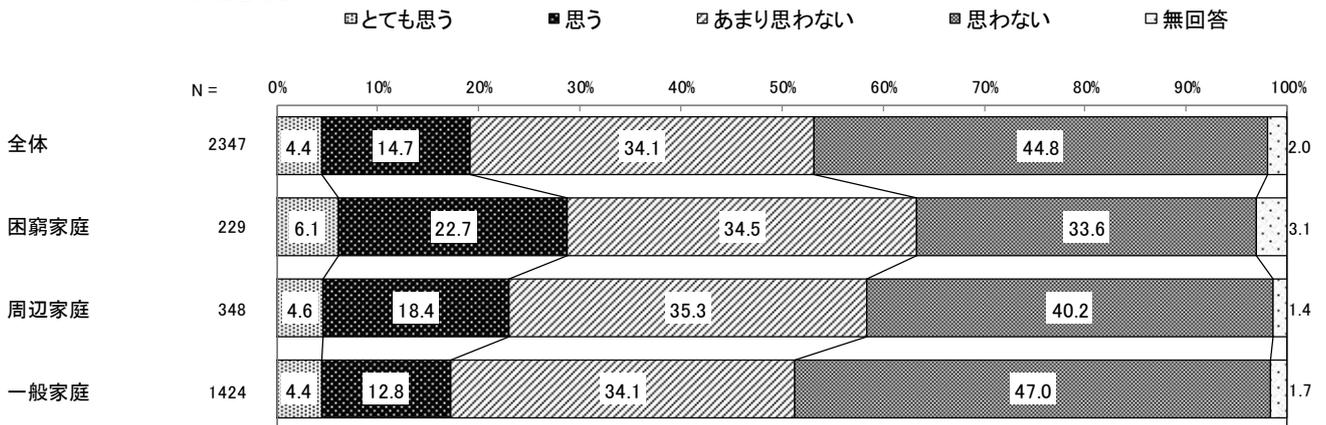
孤独を感じるは、全体では 19.1%が『思う』（「とても思う」「思う」の合計）と回答しており、16歳・17歳は 29.4%と他の学年に比べて多い。

困窮家庭では、『思う』が 28.8%と一般家庭に比べて多い。

孤独を感じる【%】



孤独を感じる【%】



(6) 学校・勉強

学校生活は、困窮家庭で「楽しくない(楽しくなかった)」「学校に行きたくないと思った」、「友だちの仲間に入れなかった」などの回答がやや多い。

小学5年と中学2年では、学校に行きたくないと思ったことが『あった』(「よくあった」「時々あった」の合計)が全体で35.1%だが、困窮家庭は52.1%と多く、16歳・17歳では、学校をやめたくなるほど悩んだことは、「ある」が31.9%で、その理由としては、「精神的に不安定」が44.0%、「友だちとうまくかわれない」が36.7%である。

授業以外の勉強時間は、学年によって異なり、16歳・17歳は勉強時間が少なくなっている。また、生活困難家庭では「全くしない」が10%強と多く、困窮家庭は「30分より少ない」も19.2%と多い。

授業がわからないと感じる子どもは、一般家庭に比べ困窮家庭に多い。

希望の進学段階は、困窮家庭は小・中学生で「高校まで」、16・17歳で「今後進学したいとは思わない」が他の区分に比べて多い。

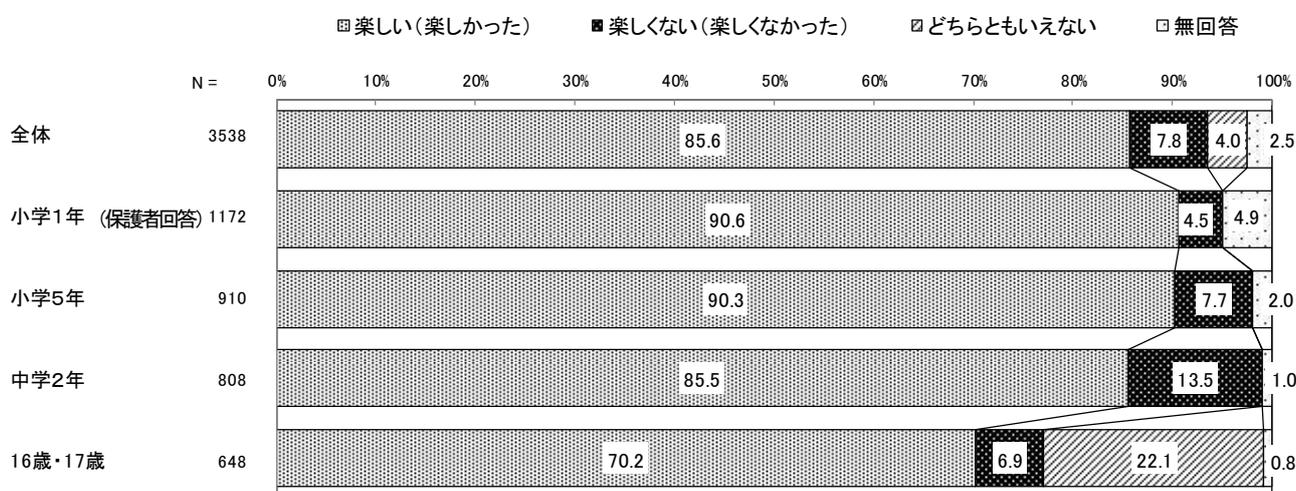
① 学校生活

問 82 あなたは、学校生活が楽しい(楽しかった)ですか。

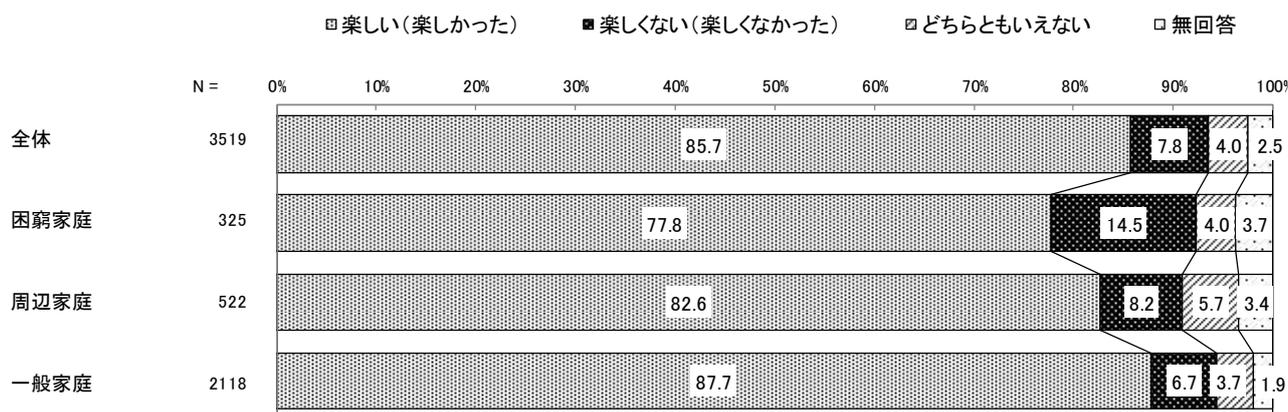
学年別の全体では、学校生活が「楽しい(楽しかった)」は85.6%と多い。小学5年生で「楽しい(楽しかった)」は90.3%と多く、学年が上がると少なくなり、16歳・17歳では70.2%である。

困窮家庭は「楽しくない(楽しくなかった)」が14.5%と、一般家庭の6.7%に比べて多い。

学校生活が楽しいか[%]

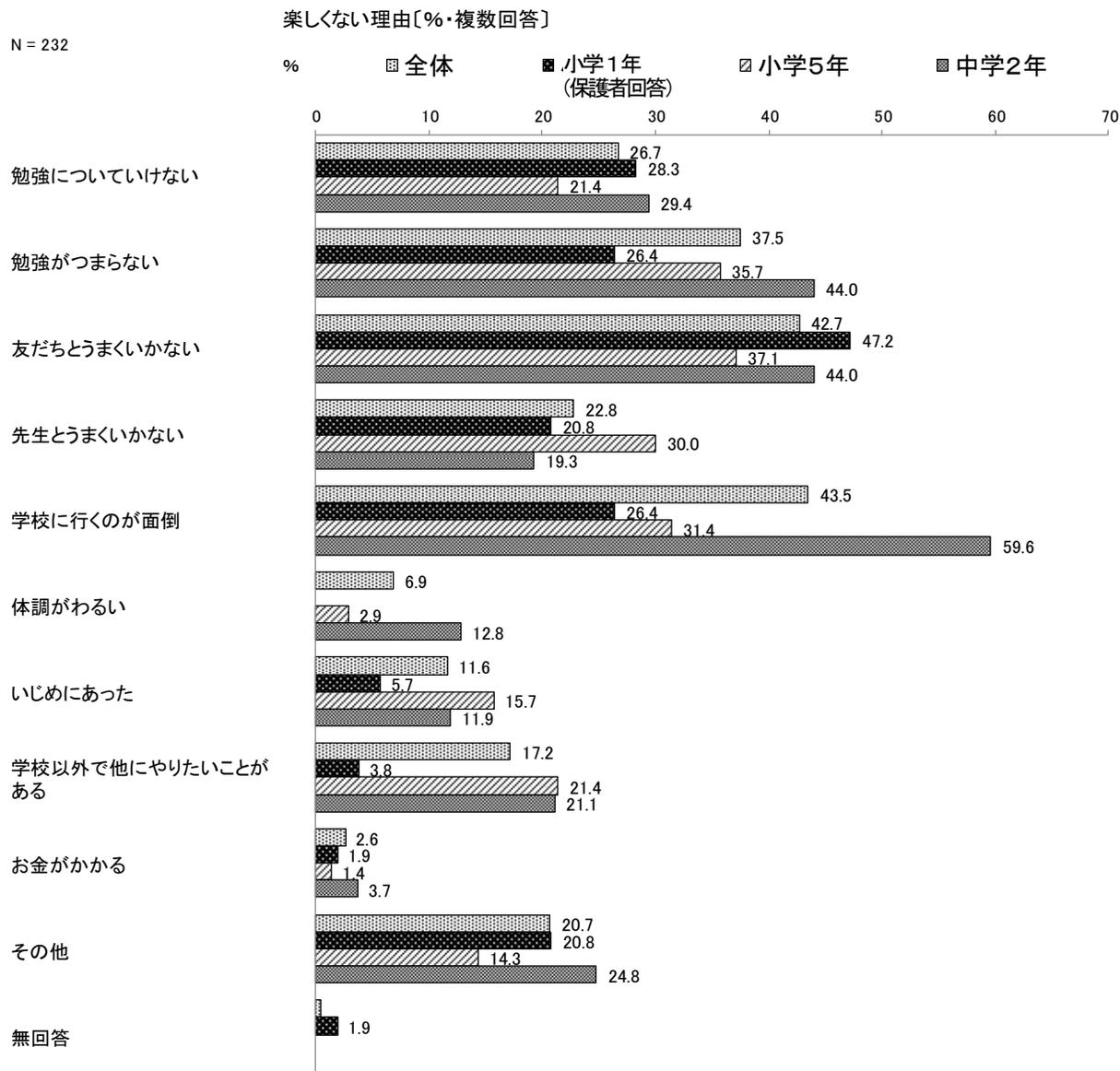


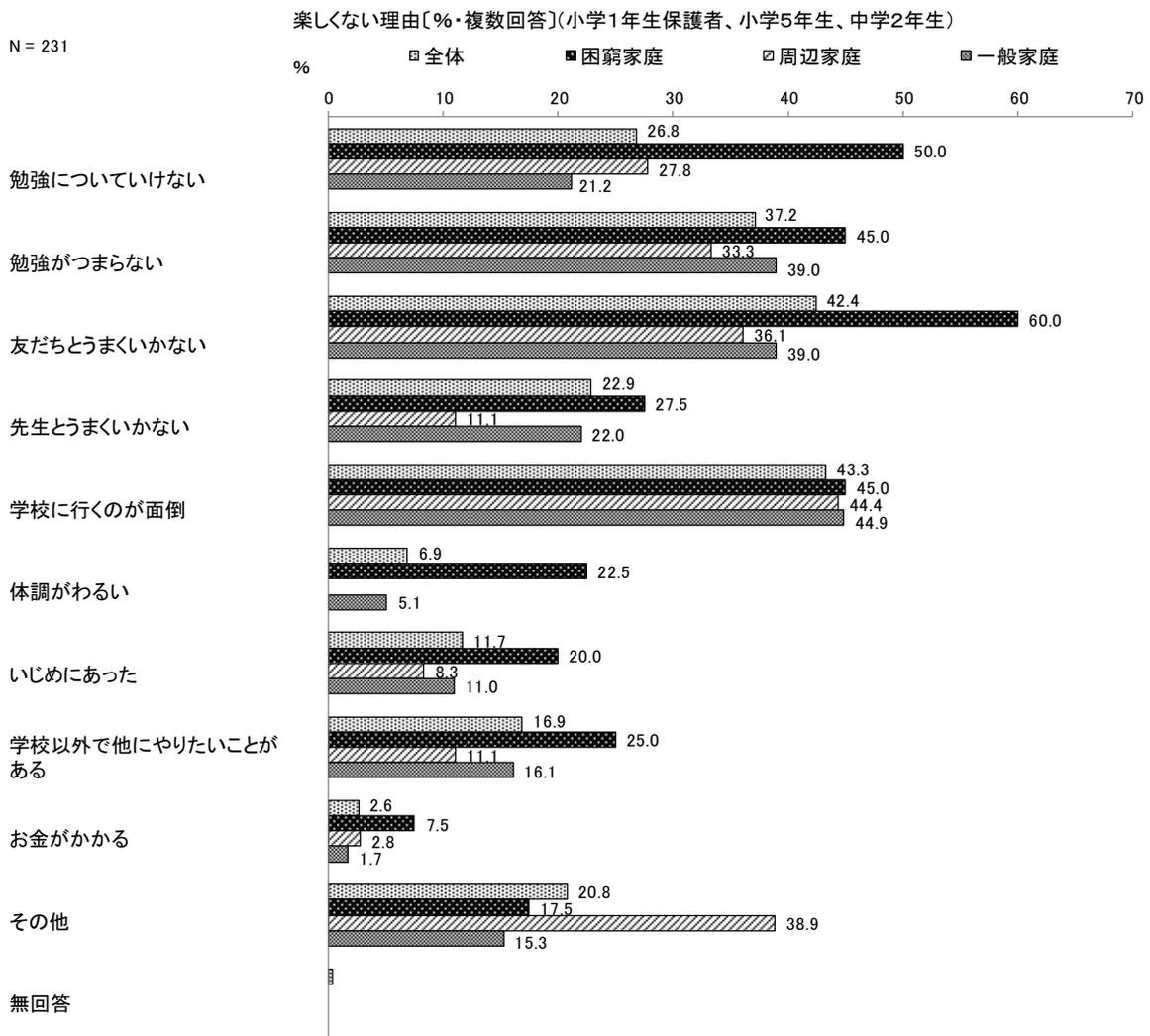
学校生活が楽しいか[%]



問 82-1 「あまり楽しくない」、「楽しくない」と答えた人にお聞きます。学校が楽しくない理由は、何ですか。(小学1年保護者、小学5年、中学2年)

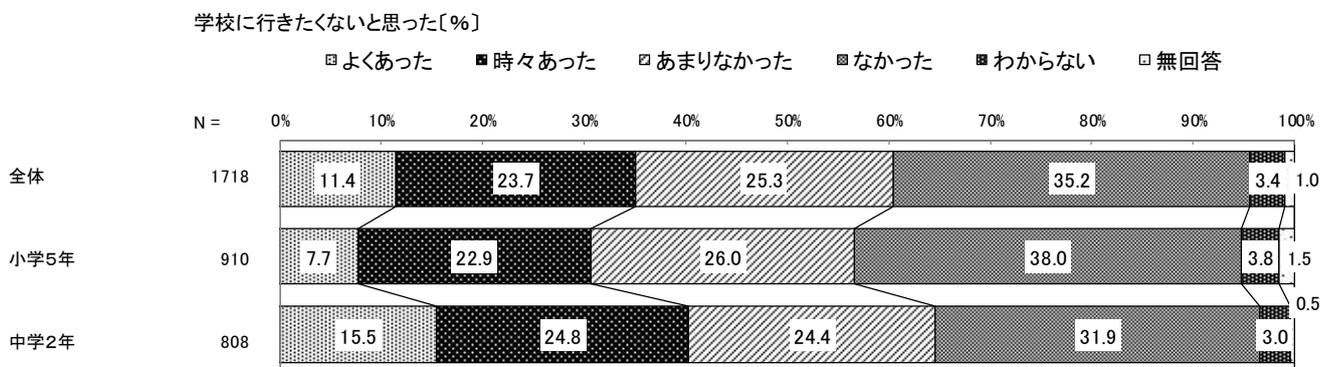
学年別の全体では、「学校に行くのが面倒」が43.5%で最も多く、中学2年は59.6%と特に多い。困窮家庭では、「友だちとうまくいかない」が60.0%、「勉強についていけない」が50.0%と多い。



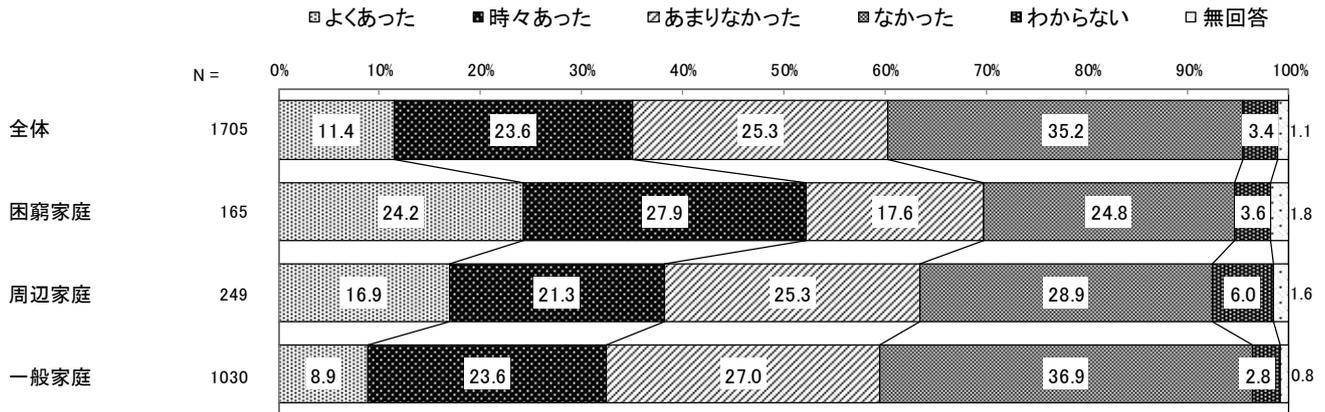


問 83 学校に行きたくないと思ったことがありますか。(小学5年・中学2年)

学年別の全体では、学校に行きたくないと思ったことが『あった』(「よくあった」「時々あった」の合計)が全体で 35.1%である。『なかった』(「あまりなかった」「なかった」の合計)は 60.5%となっている。困窮家庭では、『あった』が 52.1%と多くなっている。



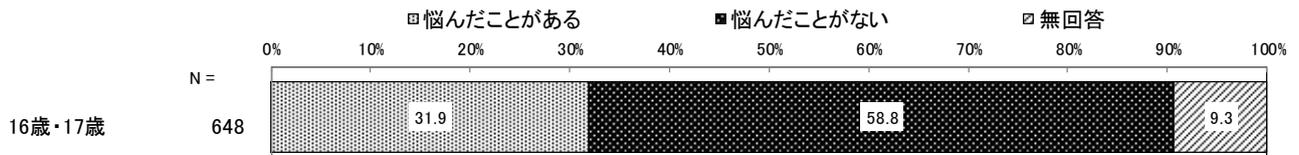
学校に行きたくないと思った[%]



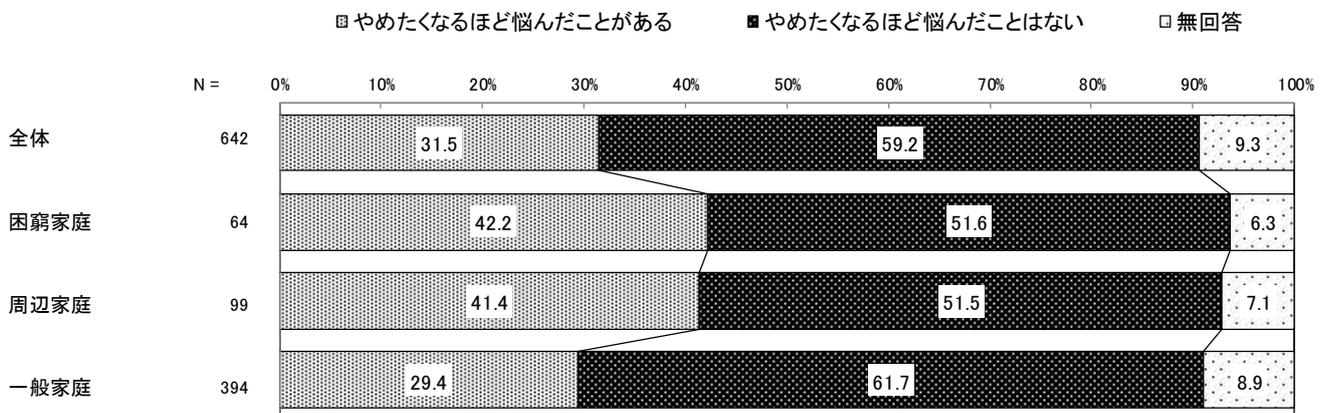
問 84 あなたは、これまでに、以下のような理由で、学校をやめたくなるほど、悩んだことがありますか。その理由にあてはまるものがありましたら、すべて○をつけてください。(16歳・17歳のみ)

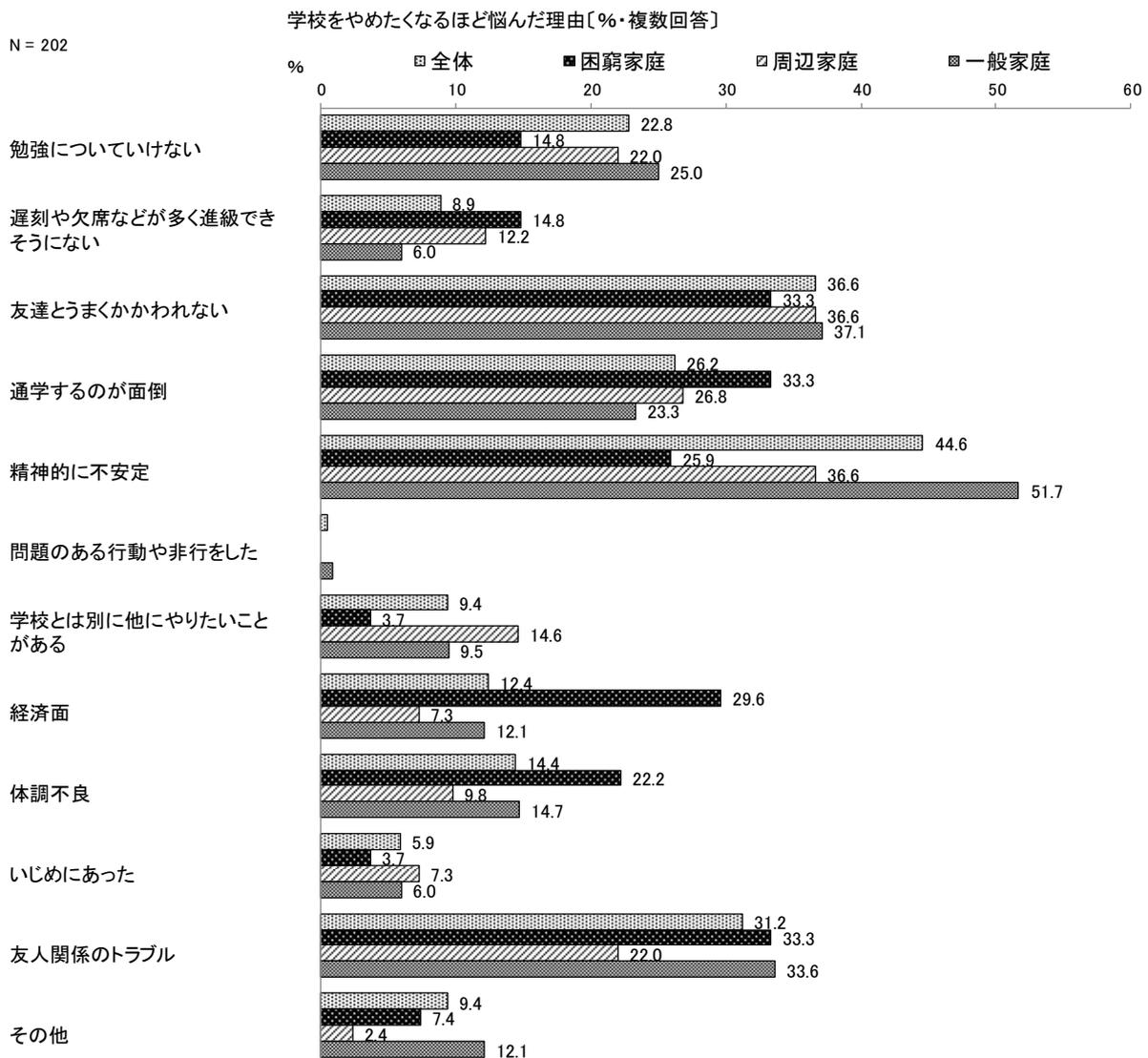
全体では、学校をやめたくなるほど「悩んだことがある」が31.9%で、その理由は「精神的に不安定」が14.0%、「友だちとうまくかかわれない」が11.5%となっている。

学校をやめたくなるほど悩んだことの有無[%]



学校をやめたくなるほど悩んだことの有無[%]





注: 経済面: 授業料等、通学費用、修学旅行費、部活費、友だちづきあい、経済的に早く自立したいを合計

問 85 あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。(いじめられた、夜遅くまで子どもだけで過ごした)(小学5年・中学2年)

いじめられたことは、学年別の全体では『あった』(「よくあった」「時々あった」の合計)が 15.5%で、『なかった』(「あまりなかった」「なかった」の合計)が 78.1%である。小学5年では、『あった』が 17.6%とやや多い。困窮家庭では『あった』が 19.4%とやや多い。

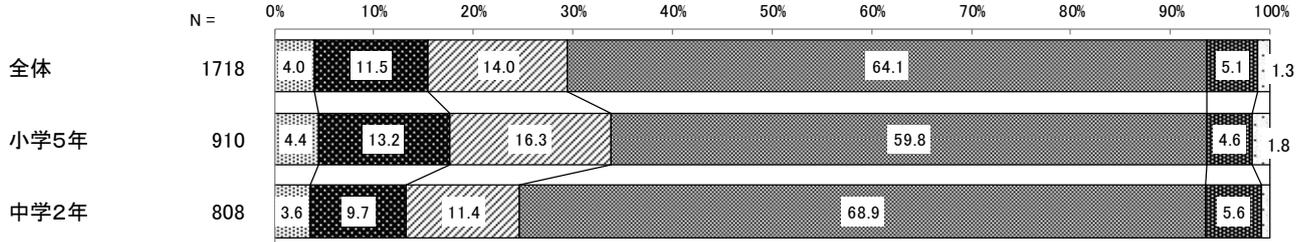
夜遅くまで子どもだけで過ごしたことは、学年別の全体では『なかった』が 90.1%と多くを占めている。

中学2年は、『なかった』が 89.4%とやや少なくなっている。

1) いじめられた

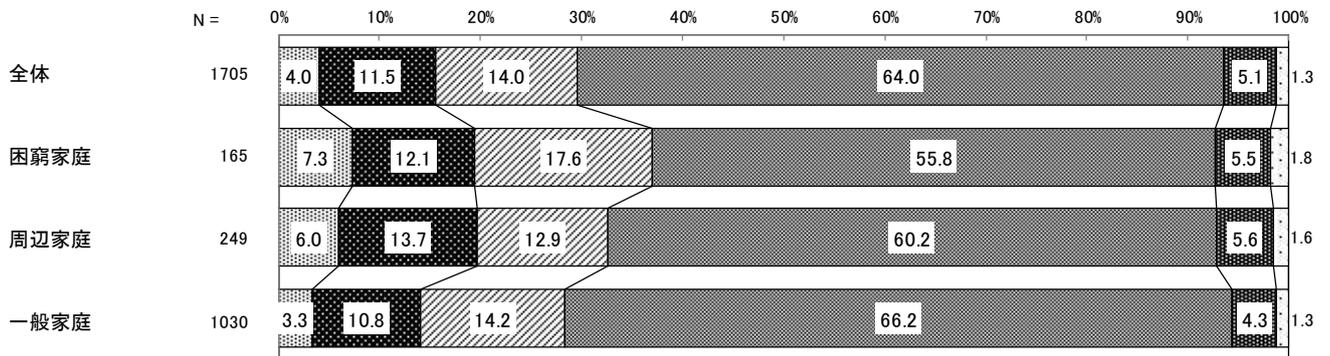
いじめられた[%]

よくあった 時々あった あまりなかった なかった わからない 無回答



いじめられた[%]

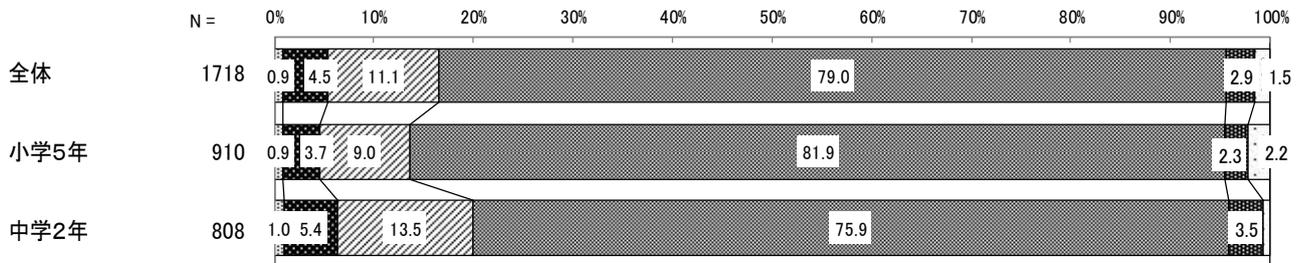
よくあった 時々あった あまりなかった なかった わからない 無回答



2) 夜遅くまで子どもだけで過ごした

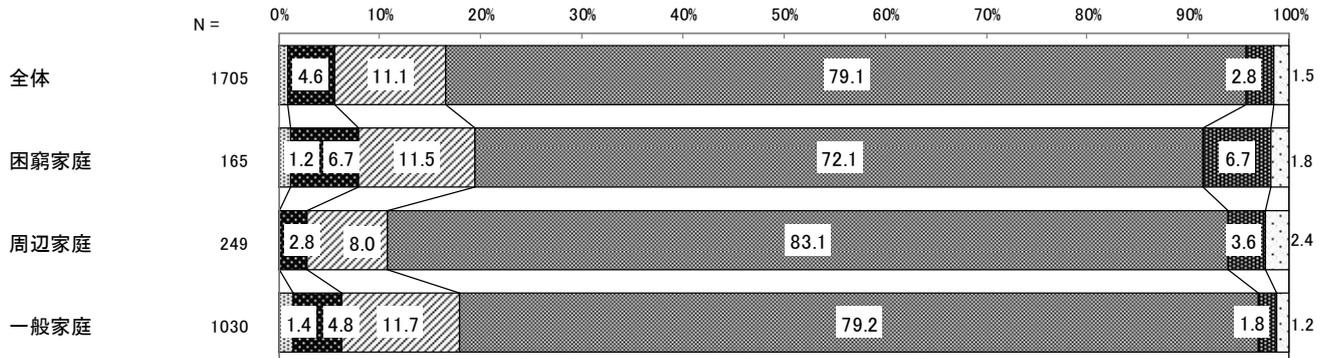
夜遅くまで子どもだけで過ごした[%]

よくあった 時々あった あまりなかった なかった わからない 無回答



夜遅くまで子どもだけで過ごした[%]

よくあった 時々あった あまりなかった なかった わからない 無回答



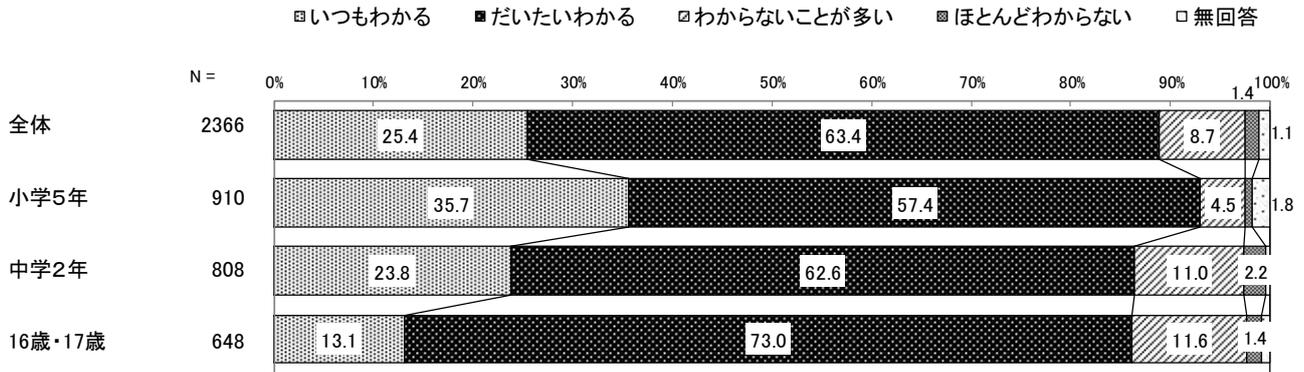
②授業の理解・勉強時間

問 86 あなたは、学校の授業がわかりますか。

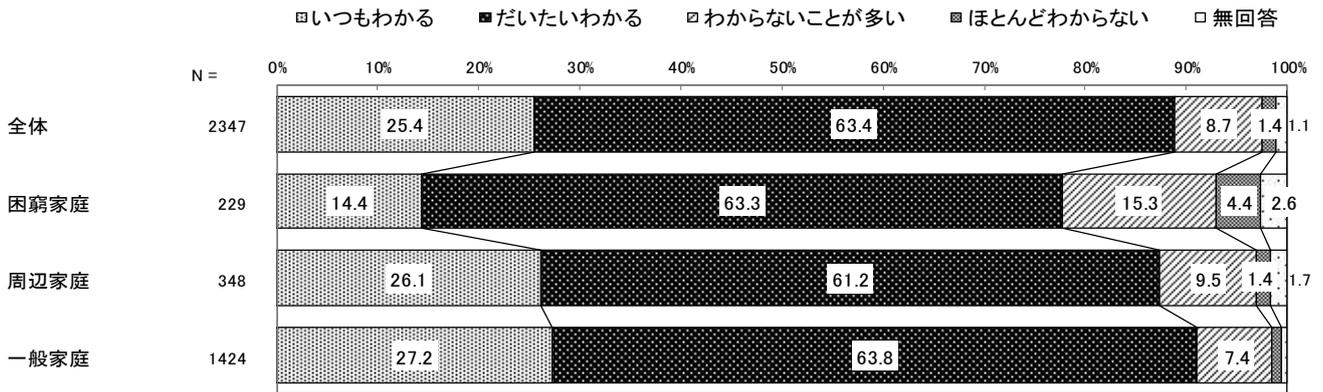
学年別の全体では 88.8%が『わかる』（「いつもわかる」「だいたいわかる」の合計）と答えているものの、10.1%が『わからない』（「わからないことが多い」「ほとんどわからない」の合計）と回答している。小学5年は「いつもわかる」が 35.7%と多いが、学年が上がるにつれて少なくなっている。

困窮家庭では「いつもわかる」が 14.4%と少なく、『わからない』が 19.7%と多い。

授業の把握度[%]



授業の把握度[%]



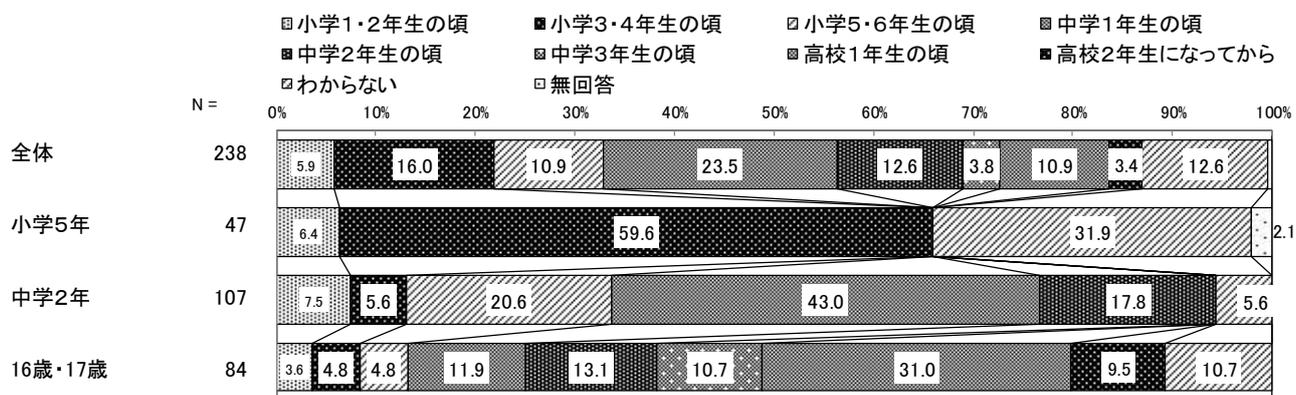
	全体	授業の把握度[%]					
		いつもわか る	だいたいわ かる	わからない ことが多い	ほとんどわ からない	無回答	
全体	2366	602	1501	205	33	25	
	100.0	25.4	63.4	8.7	1.4	1.1	
生活困窮 度別 × 調査票 別	困窮家庭	229	33	145	35	10	6
		100.0	▼ 14.4	63.3	▲ 15.3	▲ 4.4	△ 2.6
	困窮家庭：小学5年	77	17	51	4	2	3
		100.0	22.1	66.2	5.2	2.6	△ 3.9
	困窮家庭：中学2年	88	10	51	21	5	1
		100.0	▼ 11.4	58.0	▲ 23.9	▲ 5.7	1.1
	困窮家庭：16歳・17歳	64	6	43	10	3	2
		100.0	▼ 9.4	67.2	△ 15.6	△ 4.7	3.1
	周辺家庭	348	91	213	33	5	6
		100.0	26.1	61.2	9.5	1.4	1.7
	周辺家庭：小学5年	132	43	73	12	2	2
		100.0	32.6	55.3	9.1	1.5	1.5
	周辺家庭：中学2年	117	32	66	15	3	1
	100.0	27.4	56.4	12.8	2.6	0.9	
周辺家庭：16歳・17歳	99	16	74	6	-	3	
	100.0	▼ 16.2	△ 74.7	6.1	-	3.0	
一般家庭	1424	387	909	106	13	9	
	100.0	27.2	63.8	7.4	0.9	0.6	
一般家庭：小学5年	563	220	315	18	2	8	
	100.0	▲ 39.1	▼ 56.0	▼ 3.2	▼ 0.4	1.4	
一般家庭：中学2年	467	116	299	45	6	1	
	100.0	24.8	64.0	9.6	1.3	0.2	
一般家庭：16歳・17歳	394	51	295	43	5	-	
	100.0	▼ 12.9	▲ 74.9	10.9	1.3	▼ -	

問 86-1 「3 わからないことが多い」、「4 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからなくなりましたか。

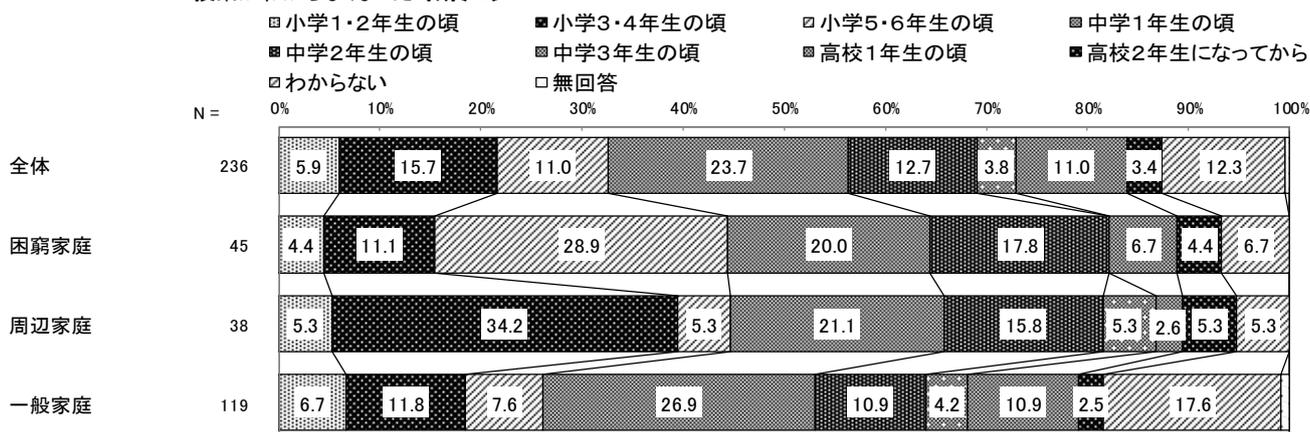
小学5年では「小学3・4年生の頃」が 59.6%、中学2年では「中学1年生の頃」が 43.0%、16・17 歳では「高校1年生の頃」が 31.0%と多い。

困窮家庭では「小学5・6年生の頃」が 28.9%と多い。

授業がわからなくなった時期[%]



授業がわからなくなった時期[%]



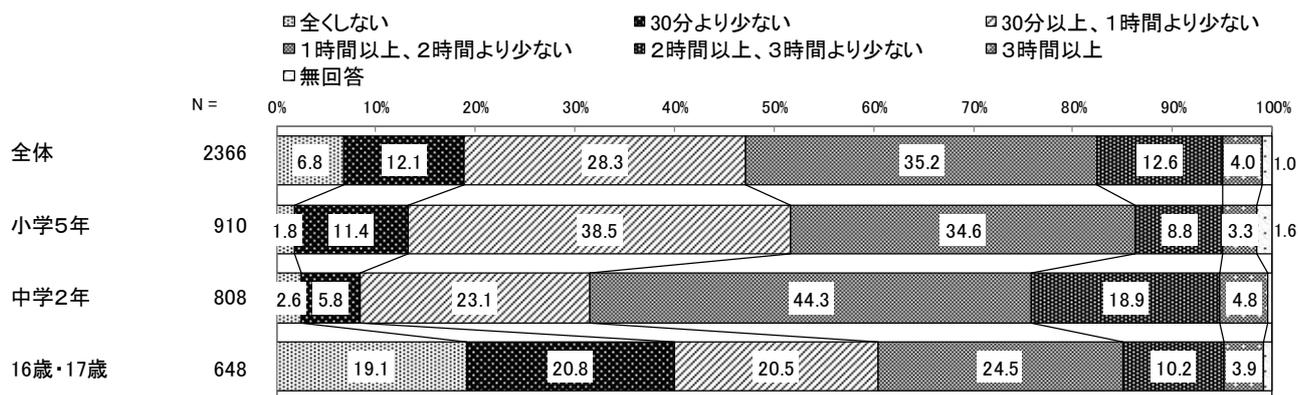
	全体	問31-1 授業がわからなくなった時期[%]										
		小学1・2年生の頃	小学3・4年生の頃	小学5・6年生の頃	中学1年生の頃	中学2年生の頃	中学3年生の頃	高校1年生の頃	高校2年生になってから	わからない	無回答	
全体	238	14	38	26	56	30	9	26	8	30	1	
	100.0	5.9	16.0	10.9	23.5	12.6	3.8	10.9	3.4	12.6	0.4	
生活困窮度別×調査票別	困窮家庭	45	2	5	13	9	8	-	3	2	3	-
	100.0	4.4	11.1	▲ 28.9	20.0	17.8	-	6.7	4.4	6.7	-	
	困窮家庭:小学5年	6	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	16.7	▲ 83.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
	困窮家庭:中学2年	26	1	-	10	8	5	-	-	-	2	-
	100.0	3.8	▽ -	▲ 38.5	30.8	19.2	-	-	-	-	7.7	-
	困窮家庭:16歳・17歳	13	-	-	3	1	3	-	3	2	1	-
	100.0	-	-	23.1	7.7	23.1	-	23.1	△ 15.4	7.7	-	-
	周辺家庭	38	2	13	2	8	6	2	1	2	2	-
	100.0	5.3	▲ 34.2	5.3	21.1	15.8	5.3	2.6	5.3	5.3	-	
周辺家庭:小学5年	14	-	12	-	-	-	-	-	-	2	-	
100.0	-	▲ 85.7	-	▽ -	-	-	-	-	-	14.3	-	
周辺家庭:中学2年	18	1	1	2	8	6	-	-	-	-	-	
100.0	5.6	5.6	11.1	△ 44.4	▲ 33.3	-	-	-	-	-	-	
周辺家庭:16歳・17歳	6	1	-	-	-	-	2	1	2	-	-	
100.0	16.7	-	-	-	-	-	▲ 33.3	16.7	▲ 33.3	-	-	
一般家庭	119	8	14	9	32	13	5	13	3	21	1	
100.0	6.7	11.8	7.6	26.9	10.9	4.2	10.9	2.5	17.6	0.8		
一般家庭:小学5年	20	2	7	-	-	-	-	-	-	10	1	
100.0	10.0	△ 35.0	-	▽ -	-	-	-	-	-	▲ 50.0	▲ 5.0	
一般家庭:中学2年	51	4	4	8	24	7	-	-	-	4	-	
100.0	7.8	7.8	15.7	▲ 47.1	13.7	-	▽ -	-	-	7.8	-	
一般家庭:16歳・17歳	48	2	3	1	8	6	5	13	3	7	-	
100.0	4.2	6.3	▽ 2.1	16.7	12.5	△ 10.4	▲ 27.1	6.3	14.6	-	-	

問 87 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。

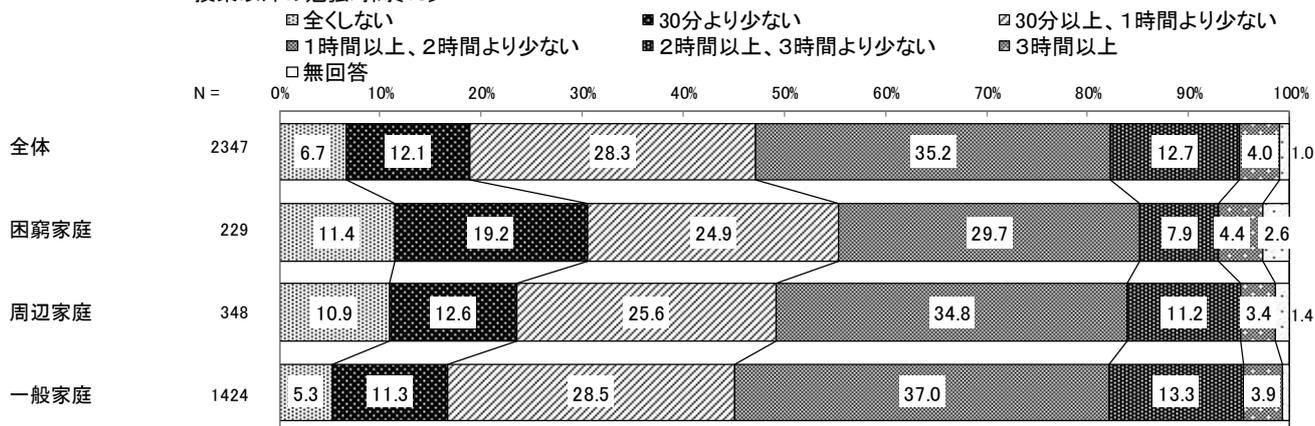
学年別の全体では、「1 時間以上、2時間より少ない」が 35.2%、「30 分以上、1時間より少ない」が 28.3%で多いが、中学2年は「1時間以上、2時間より少ない」が 44.3%と多く、16 歳・17 歳は「全くしない」や「30 分より少ない」などが多くなっている。

生活困難家庭では、「全くしない」がともに 10%強と多く、困窮家庭は「30 分より少ない」も 19.2%と多い。

授業以外の勉強時間[%]



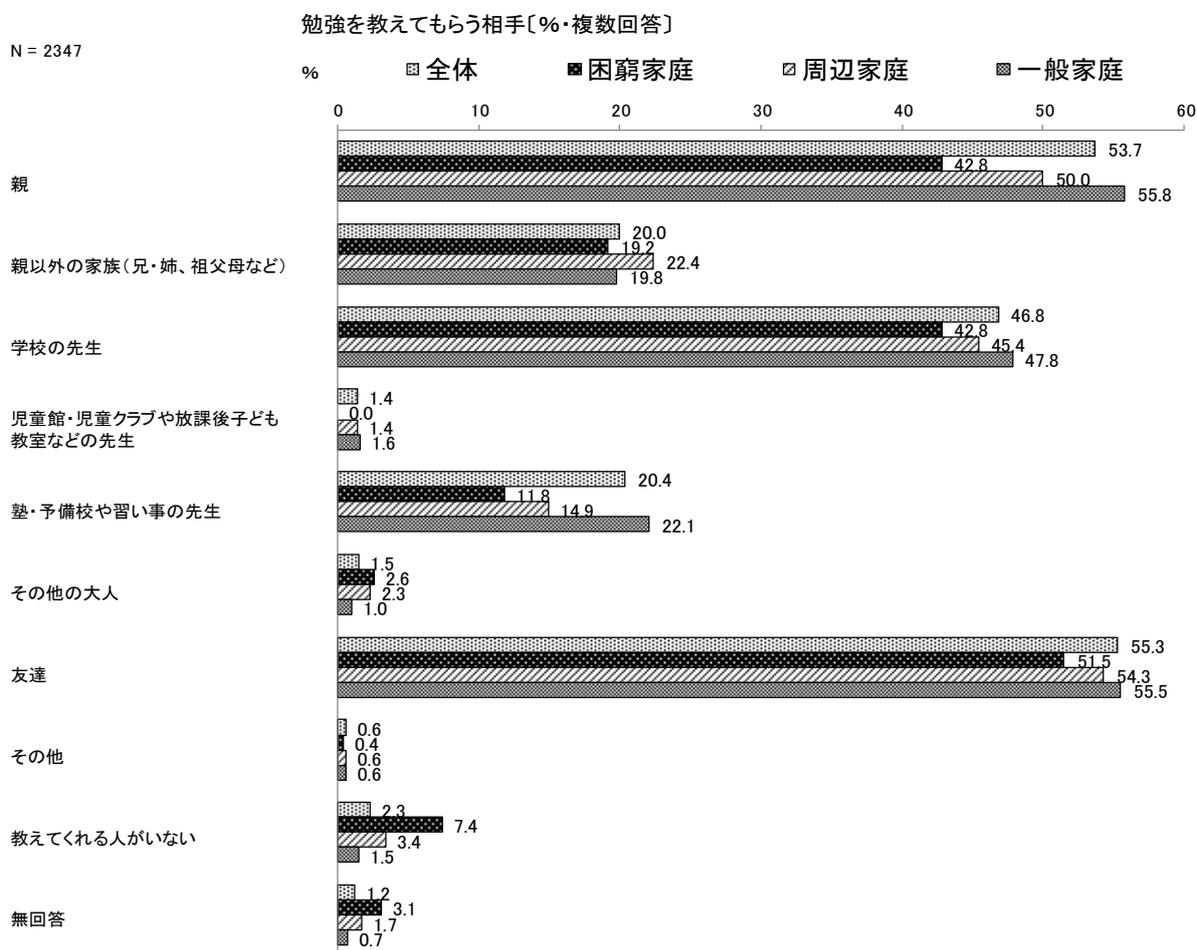
授業以外の勉強時間[%]



問 88 勉強がわからない時は、だれに教えてもらいますか(教えてもらいましたか)。(16歳・17歳のみ)

全体では、「友達」が55.3%、「親」が53.7%と多い。

困窮家庭では、「親」が少なく、「教えてくれる人がいない」が7.4%みられる。



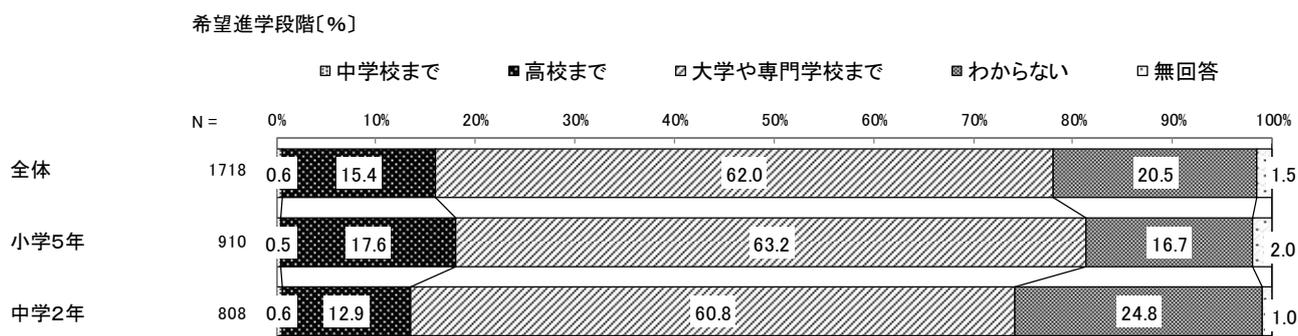
③希望の進学先

問 89 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

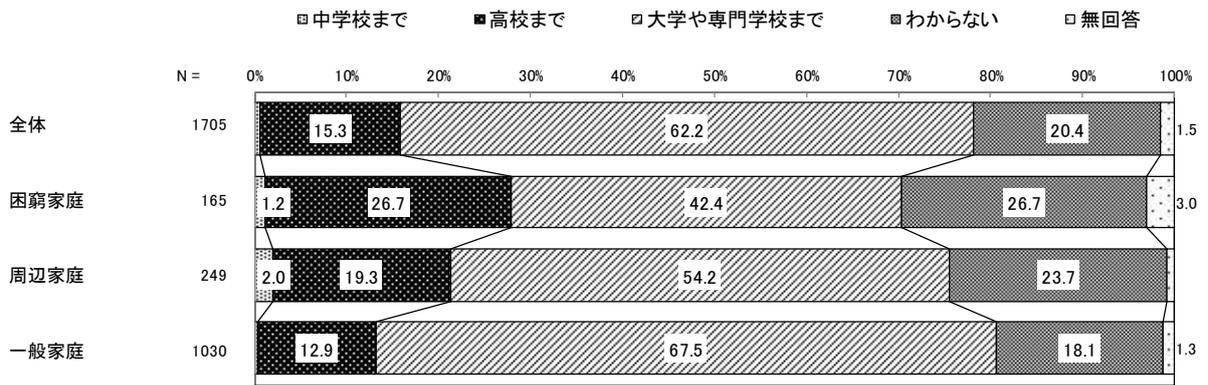
[小・中学生]

学年別の全体では、「大学や専門学校まで」が62.0%と多い。また、中学2年では、「わからない」が16.7%とやや多い。

困窮家庭は、「大学や専門学校まで」が42.4%と少なく、「高校まで」「わからない」がともに26.7%と他の区分に比べて多い。



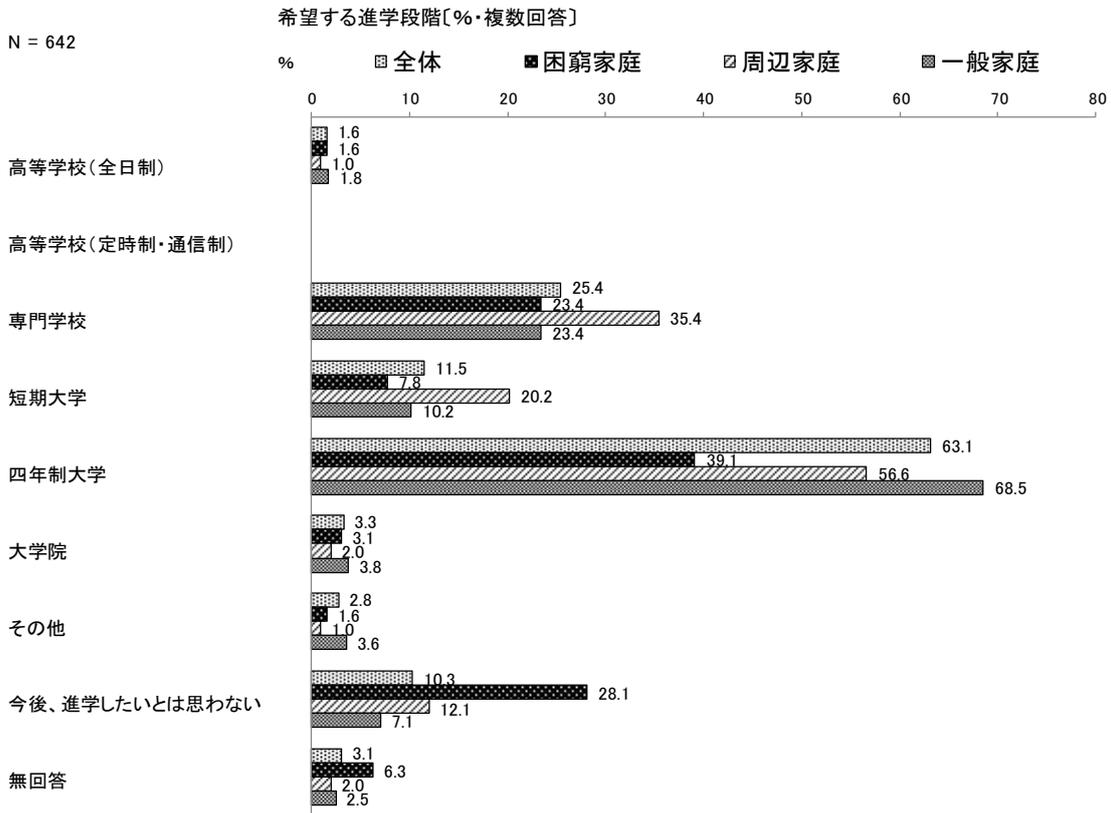
希望進学段階[%]



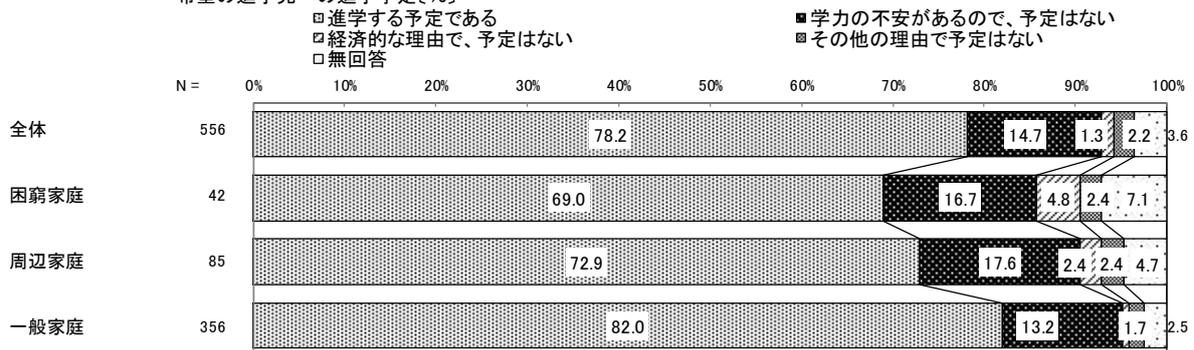
[16歳・17歳]

「四年制大学」が、63.1%と多く、「専門学校」が 25.4%、「短期大学」が 11.5%が続いている。困窮家庭は「四年制大学」が 39.1%と少なく、「今後、進学したいとは思わない」が 28.1%と他の区分が多い。

希望進学先への進学予定は、「進学する予定である」が 78.2%と多く、困窮家庭では「経済的な理由で、予定はない」が 4.8%と他の区分に比べて多い。



希望の進学先への進学予定[%]



(7) 悩みや相談

自分や家族のことでの悩みや心配ごとは、困窮家庭で「勉強のこと」と「進学・進路のこと」が多い。

相談相手はいるという回答が全体では 75.4%と多いものの、困窮家庭では「相談相手がない」が 3.9%とやや多い。

[悩みや心配ごと]

問 90 あなたは、自分や家族のことでのなやみや心配ごとがありますか。

全体では「進学・進路のこと」、「勉強のこと」がともに 35%程度と多い。また、「悩みや心配事はない」も 30%程度となっている。

各学年別でも「進学・進路のこと」と「勉強のこと」は多く回答されているが、小学5年ではそれに加えて「自分の性格のこと」、「友達との関係」の回答が多くなっている。また、中学2年と16歳・17歳ではそれに「クラブ活動のこと」が加わっている。16歳・17歳では「自分の性格のこと」や「友達との関係」よりも「自分の容姿(顔だちや体つき)のこと」が14.8%とやや多くなっている。

困窮家庭では、「進学・進路のこと」「勉強のこと」がともに 40%程度と多く、「自分の性格のこと」や「友達との関係」なども多くの項目で他の区分に比べて多い。

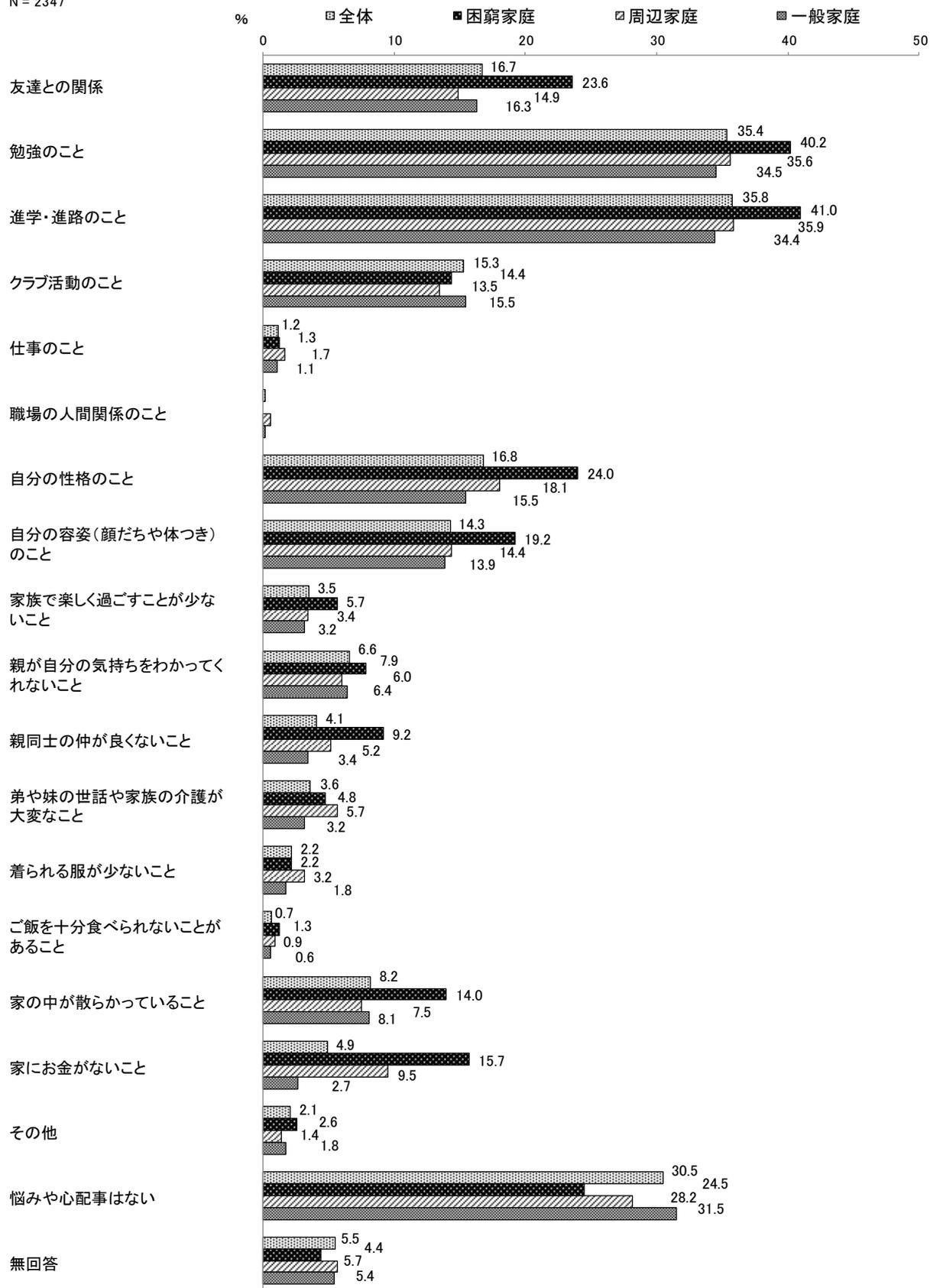
上位5位

N=2,347

	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	進学・進路のこと (35.7%)	勉強のこと (35.2%)	悩みや心配事はない (30.5%)	友達との関係 自分の性格のこと (16.8%) (16.8%)	
小学5年	悩みや心配事はない (41.0%)	勉強のこと (23.4%)	自分の性格のこと (17.1%)	友達との関係 (15.2%)	進学・進路のこと (13.8%)
中学2年	勉強のこと (49.5%)	進学・進路のこと (47.6%)	クラブ活動のこと (26.4%)	友達との関係 (20.7%)	悩みや心配事はない (20.5%)
16歳・17歳	進学・進路のこと (51.4%)	勉強のこと (34.1%)	悩みや心配事はない (28.1%)	クラブ活動のこと (18.5%)	自分の容姿(顔だちや体つき)のこと (14.8%)

家族のことで悩みや心配ごとがあるか[%・複数回答]

N = 2347



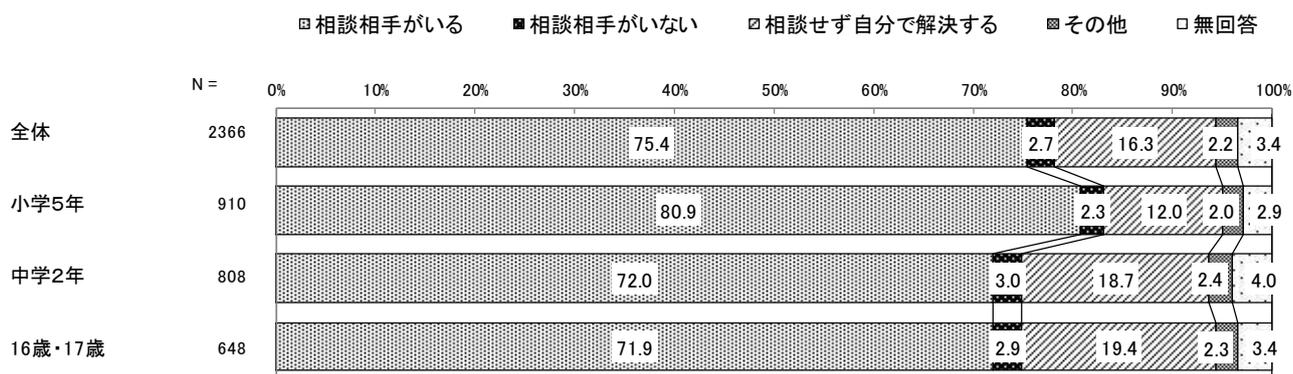
問 91 あなたは、悩みや心配事があるとき、だれに相談しますか。

悩みや心配ごとがあるとき、「相談相手がいる」は全体では 75.4%と多い。学年別では、小学5年は「相談相手がいる」が 80.9%と多いが、中学2年と 16 歳・17 歳は、「相談せずに自分で解決する」あるいは「相談相手がない」という回答が 22%前後と小学5年に比べてやや多い。

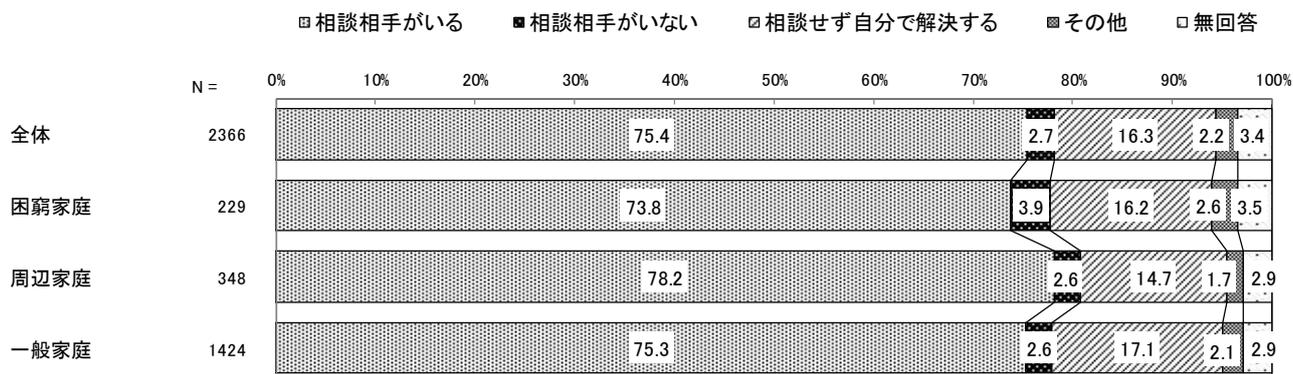
相談先は全体で「母親」が 65.2%と多い。また、小学5年は「父親」も他の学年に比べて多い。学年が上がるとともに、「学校の友達」が多くなっている。

困窮家庭では、「母親」、「父親」が、他の区分と比べて少なく、「保健室の先生」が 5.2%と他の区分に比べて多い。

悩みや心配ごとがあるときの相談相手〔%〕

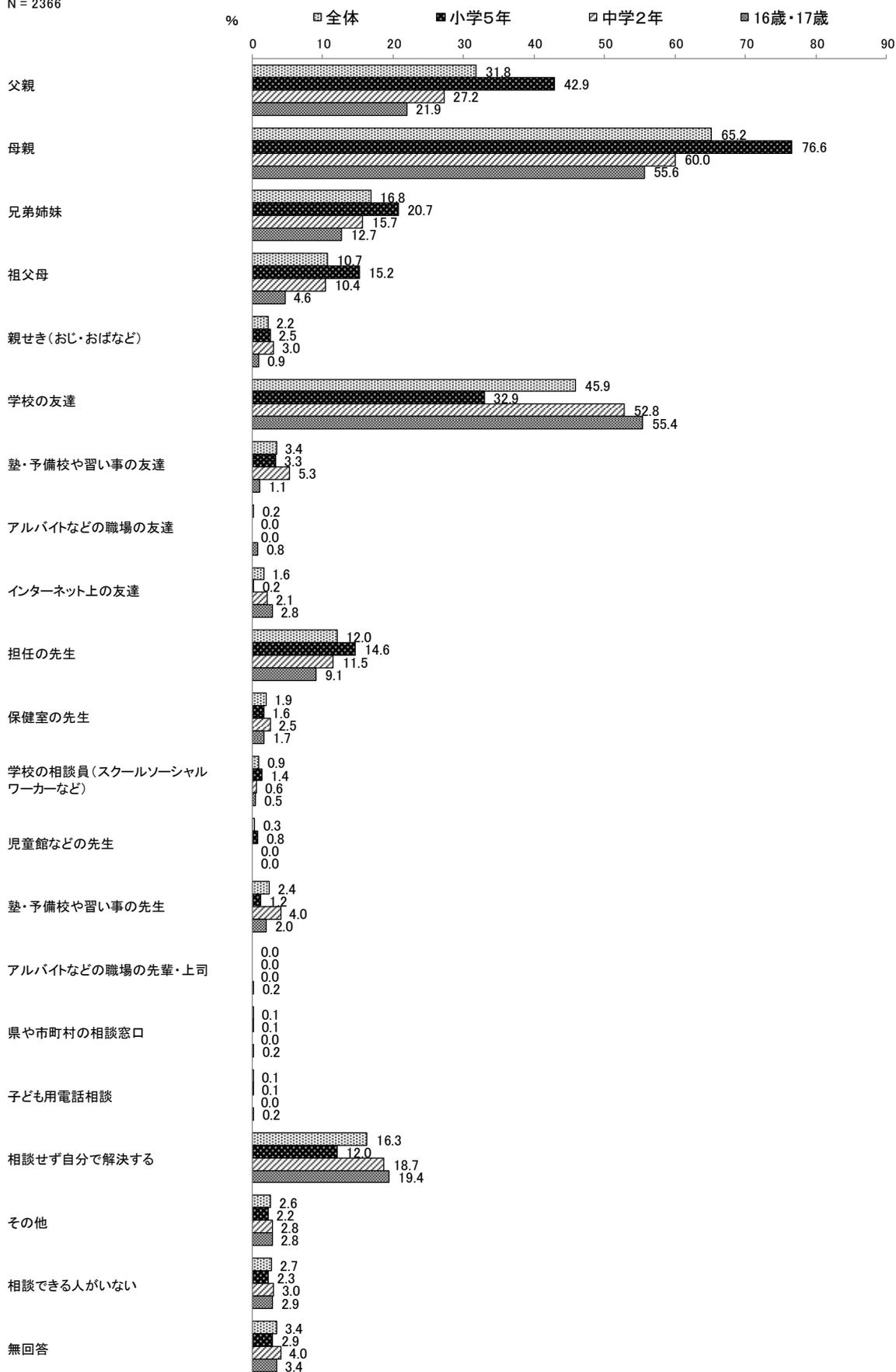


悩みや心配ごとがあるときの相談相手〔%〕



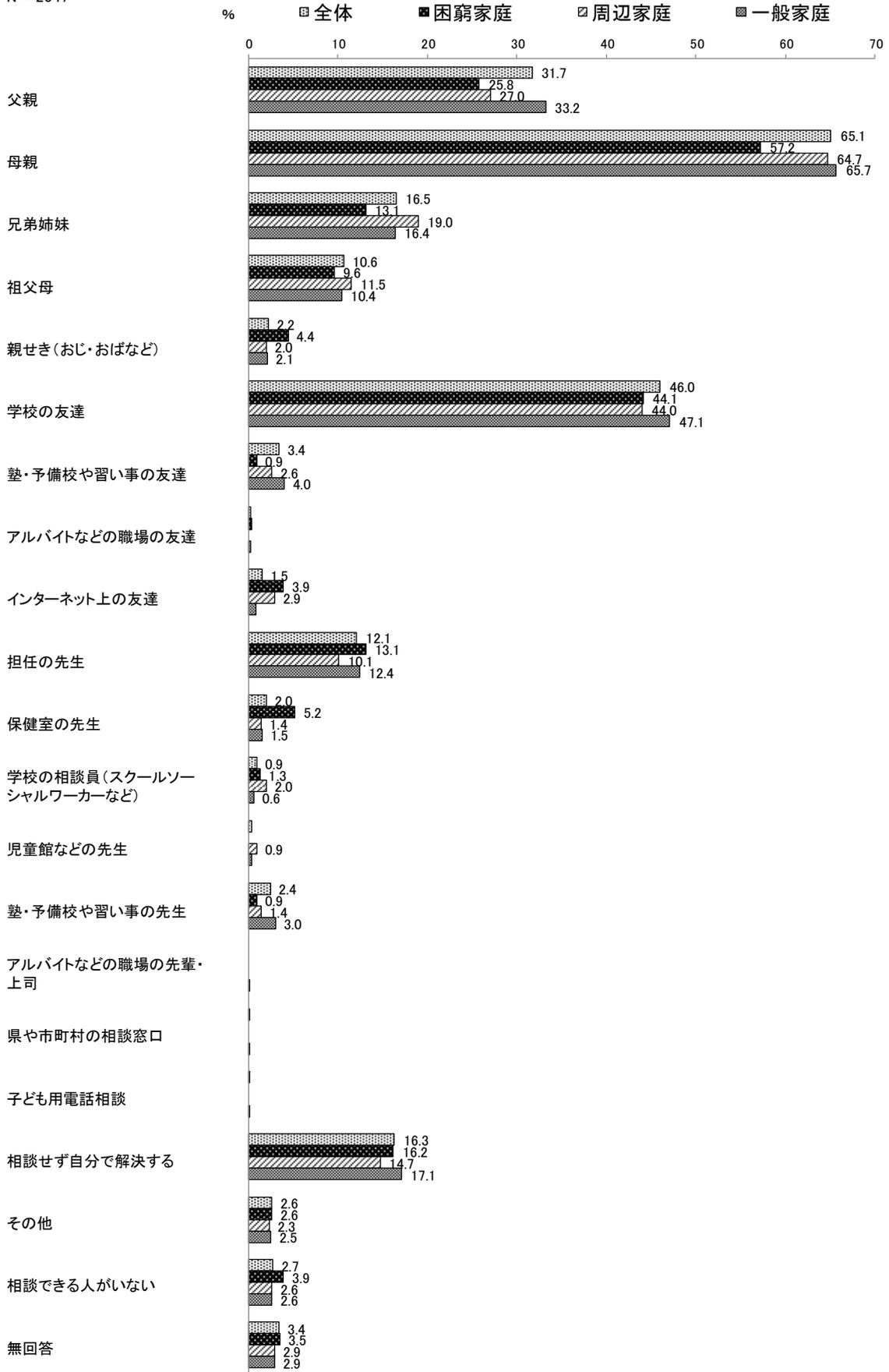
問39 悩みや心配ごとがあるときの相談相手[%・複数回答]

N = 2366



悩みや心配ごとがあるときの相談相手[%・複数回答]

N = 2347



問 92 友達の仲間に入れなかったことがありますか。(小学5年・中学2年)

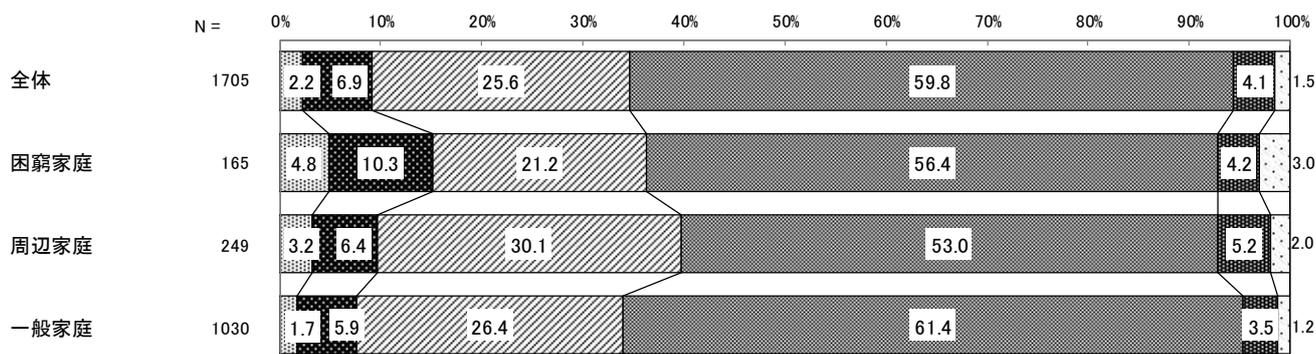
『あった』(「よくあった」「時々あった」の合計)は9.1%である。

困窮家庭では15.1%と他の区分に比べて多い。

理由としては、「話が合わない・話についていけない」、「趣味が合わなくて仲間に入れれない」、「無視された」などが回答されている。

友達の仲間に入れなかった[%]

□よくあった ■時々あった □あまりなかった ■なかった ■わからない □無回答



順位	小中学生本人:友達の輪に入れなかった理由の主な意見	件数
1位	話についていけない・合わない、趣味が合わなくて仲間に入れれない。	35件
	ゲームの話題で、僕はゲームをやっていないから、ついていけなかった。ジャニーズとかアイドルとか一切興味がなく、何を言っているのか全くわからない。ユーチューバーの名前とか見ないし見たいと思わない為話がわからない。	
2位	仲間はずれされたことがある、無視されたことがある、いじめられたことがある。	21件
	入れてとといったけど仲間外れにされた。「人数オーバー」と言われた。話しかけても無視をされた。友達の輪に入るとにらまれたり、「何でもない」と言ってどっかに行ってしまった。	
3位	気まづくなった	3件
	仲良かった友達と昨日は遊んで、次の日に違う友達と遊んでいたら、少しずつ距離が出てきて、話しづらくなった。「あ、〇〇ちゃんがいる。気まづいね」といった人が仲間の中に入っていたから。	

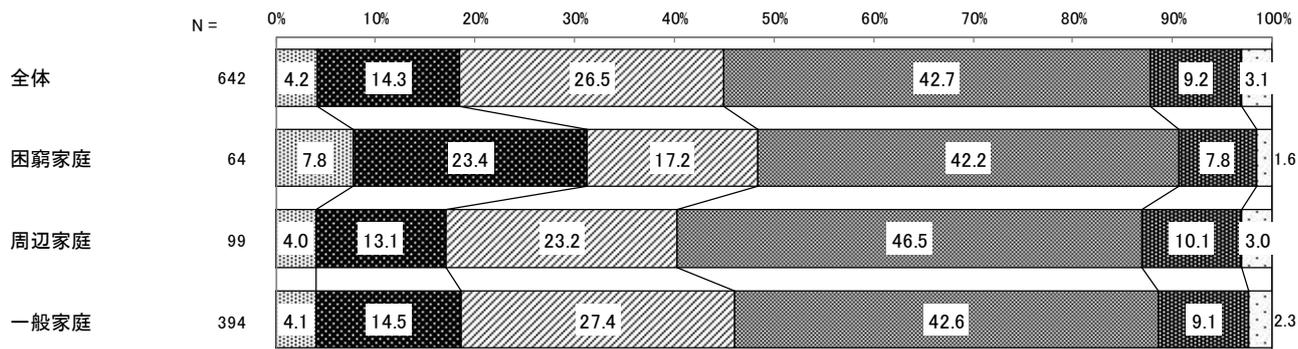
問 93 あなたは、これまで、友達の輪に入れなくて、嫌な思いやつらい思いをしたことがありましたか。(16歳・17歳のみ)

『あった』(「よくあった」「時々あった」の合計)が18.5%みられ、困窮家庭では31.2%と他の区分に比べて多くなっている。

理由としては、「話が合わない・話についていけない」、「話しかけられない」、「人見知り」などが回答されている。

友達の輪に入れなくて嫌な思いをしたことの有無[%]

□よくあった ■時々あった □あまりなかった ■なかった ■わからない □無回答

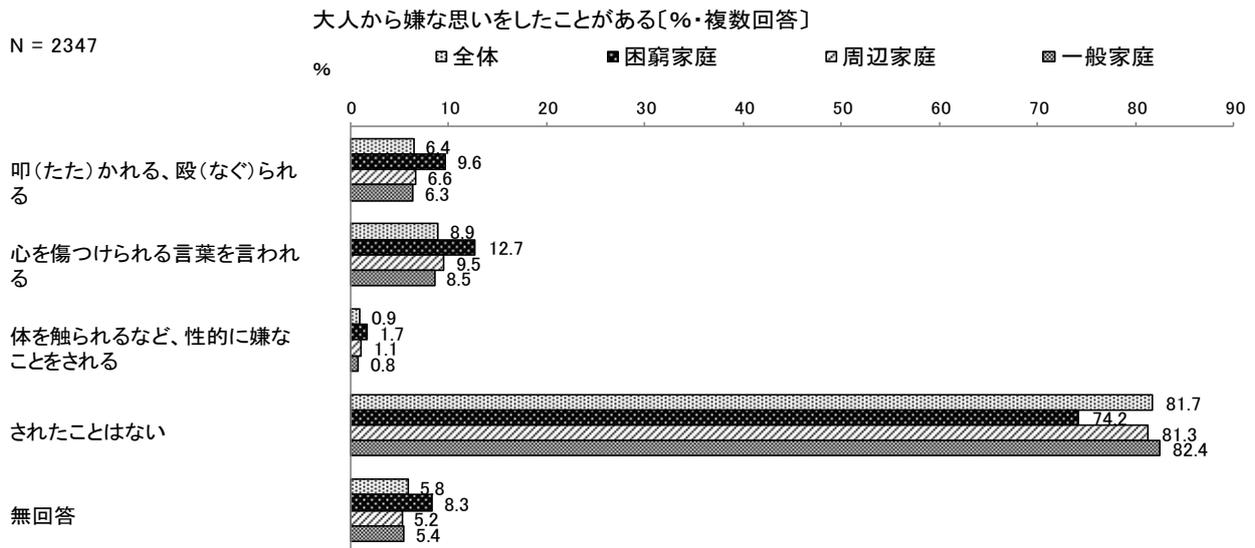


順位	16・17歳本人：友達の輪に入れなかった理由の主な意見	件数
1位	話が合わない・話についていけないため	14件
	話が合わない。流行などに興味がないのでしんどい。会話についていけなかったから。話がわからなかったり、距離を感じるなど思うことがあった。	
2位	(相手・自分から)話しかけられないため	9件
	あまり積極的に話しかけたりすることができない。自分から話しかけることができなかったから。話しかけづらい。話題がない。	
3位	人見知りのため	各6件
	人見知りだから。人見知りで自分をうまく表現できず、周りの言葉にただ頷くだけで、自分の意見をはっきり言う事ができなかったから。	
	無視されたため	
	無視された。話をはぐらかされる。わかりやすく無視をされた。私が近くに行くと何もないようにふるまう。大声で悪口を言われた。聞こえるように悪口を言われた。	
	仲間外れにされたため	
	仲良しのグループからはぶかれて、1ヶ月位しんどかった。仲の良い人達が既にグループを作っていた。いきなりはぶかれる。ウソを流され信頼を失われた。そもそも友達がない。	

問 94 あなたは、大人から次のようなことをされて、いやな思いやつらい思いをしたことがありますか。

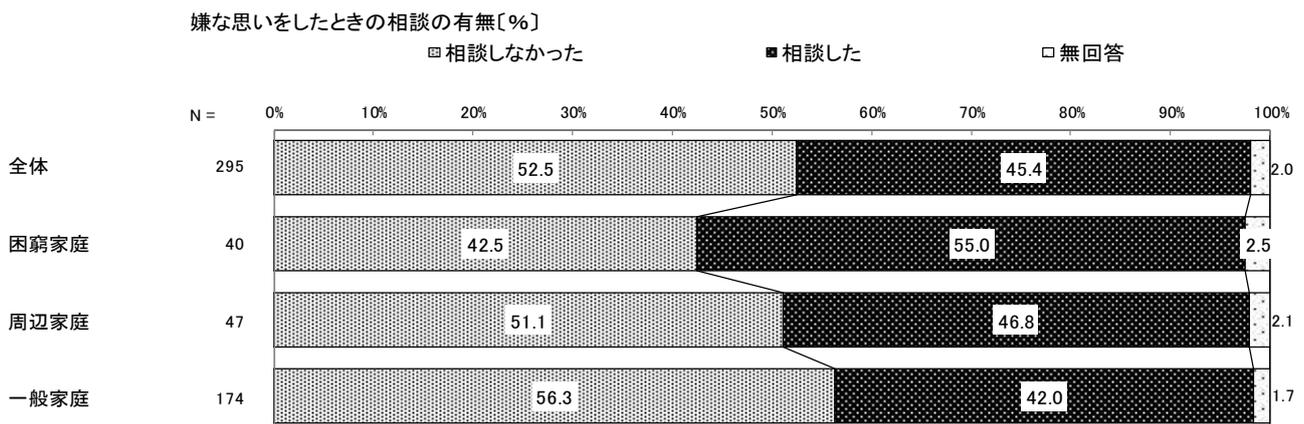
全体では、「されたことはない」が81.7%を占めている。

困窮家庭では、「心を傷つけられる言葉を言われる」が12.7%、「叩(たた)かれる、殴(なぐ)られる」が9.6%で、他の区分に比べて多い。



問 94-1 「1叩(たた)かれる、殴(なぐ)られる」、「2心を傷つけられる言葉を言われる」「3体を触られるなど、性的に嫌なことをされる」を答えた人にお聞きします。嫌な思いをしたときに、だれかに相談しましたか。

全体では、「相談しなかった」が52.5%と半数を超えているが、困窮家庭では、「相談した」が55.0%で、「相談しなかった」よりも多い。



(8) サービスや支援策の関心

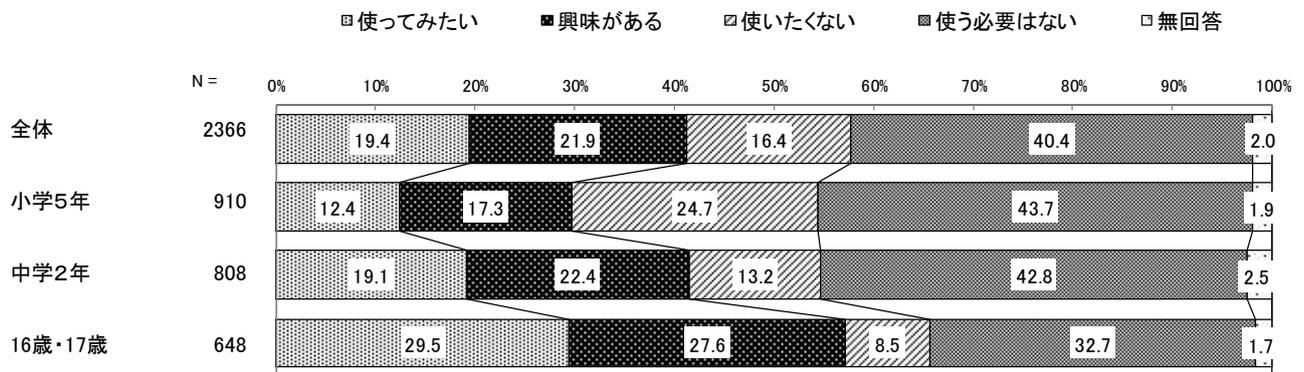
家で勉強できないとき、静かに勉強できる場所への関心(「使ってみたい」「興味がある」の合計。以下同様)は 61.5%と高い。困窮家庭では、なんでも相談できる場所に「興味がある」という回答は 35.4%とやや多い。

16歳・17歳では、休日にいることができる場所への関心が61.1%と高い。生活困難家庭では低額・無料で通信教育が受けられるサービスへの関心が51.6%と高い。困窮家庭では家から出て学校に通うことのできる低額・無料の寮への関心も高く54.7%である。

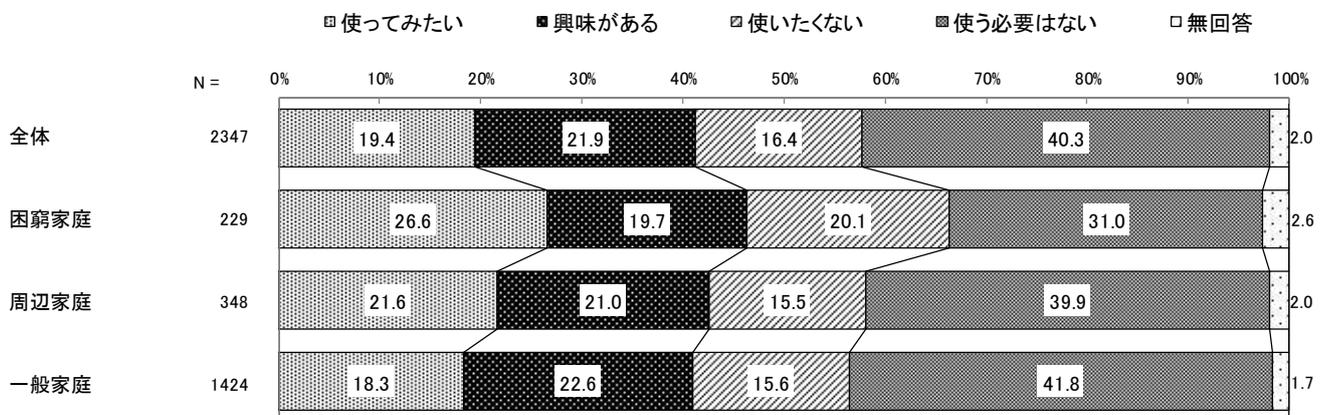
問 95 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。

1) 平日の放課後に夜までいることができる場所

平日の放課後に夜までいることができる場所[%]

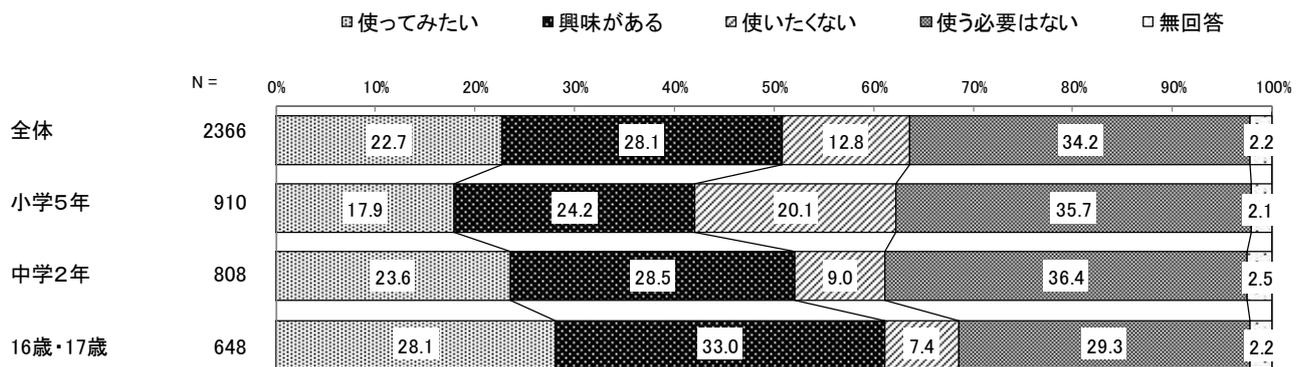


平日の放課後に夜までいることができる場所[%]

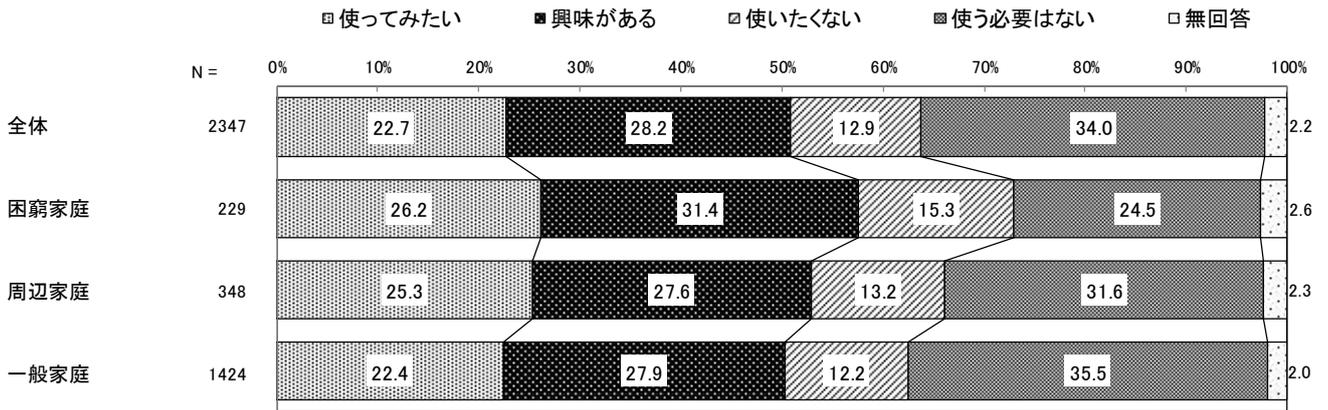


2) 休日にいることができる場所

休日にいることができる場所[%]

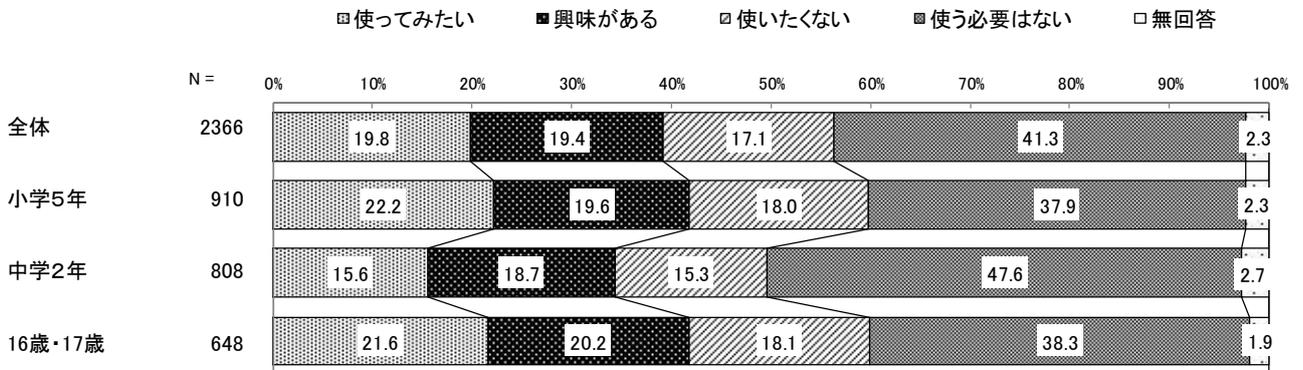


休日にいることができる場所[%]

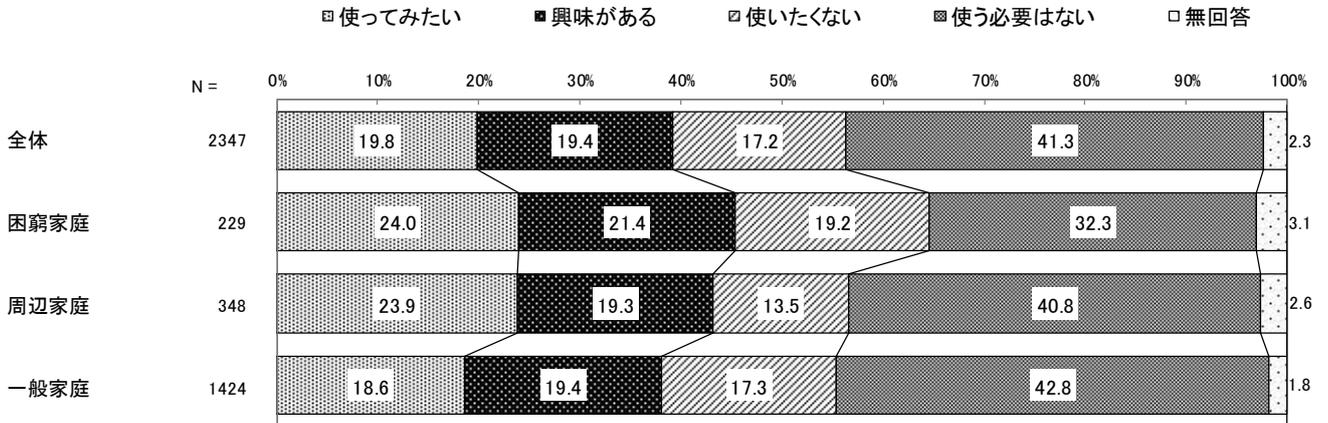


3) 家の人がない時、夕ご飯をみんなで食べられる場所

家の人がない時、夕ご飯をみんなで食べられる場所[%]

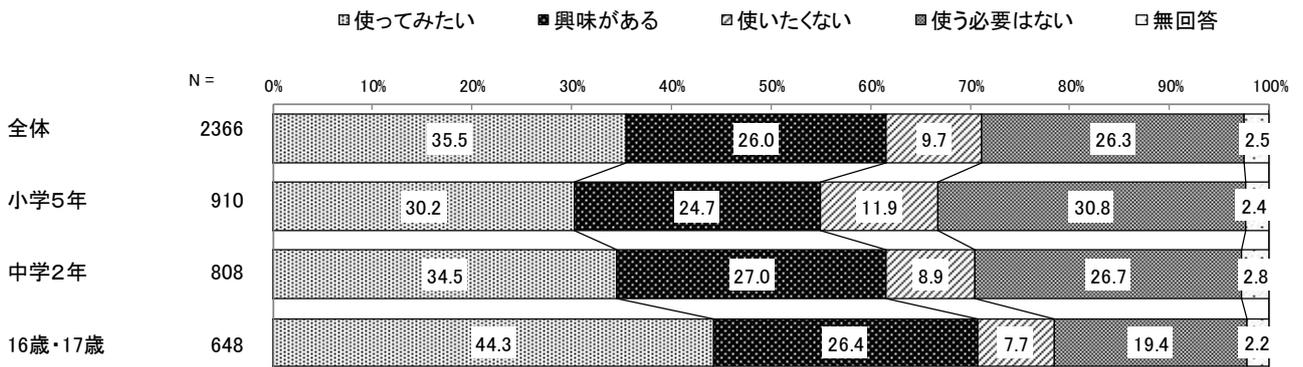


家の人がない時、夕ご飯をみんなで食べられる場所[%]



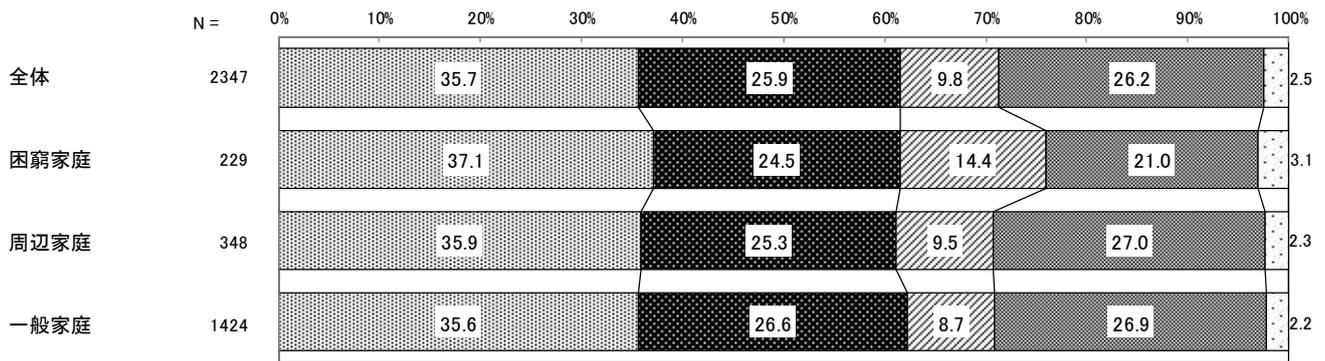
4) 家で勉強ができないとき、静かに勉強ができる場所

家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所[%]



家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所[%]

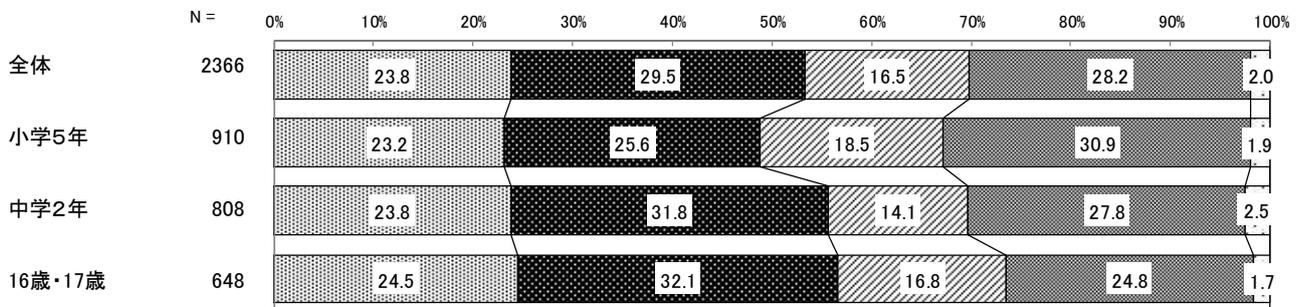
□使ってみたい ■興味がある □使いたくない ■使う必要はない □無回答



5) 大学生のボランティアが勉強を無料でみてくれる場所

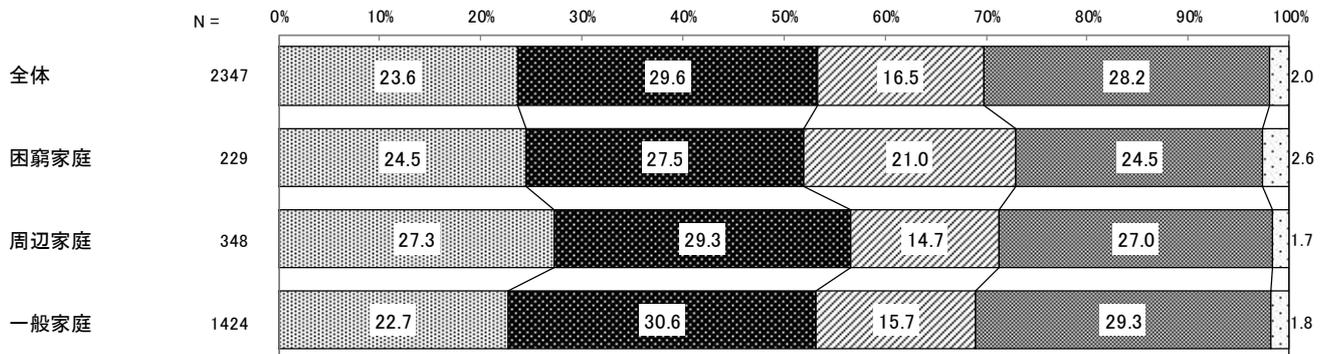
大学生のボランティアが勉強を無料でみてくれる場所[%]

□使ってみたい ■興味がある □使いたくない ■使う必要はない □無回答



大学生のボランティアが勉強を無料でみてくれる場所[%]

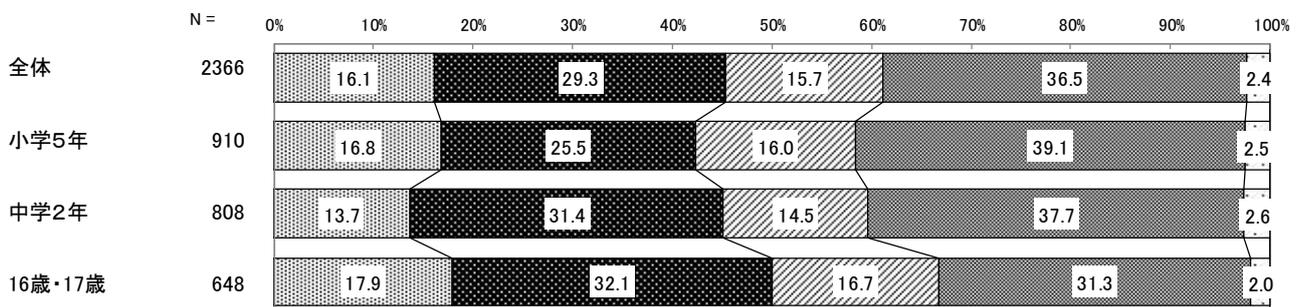
□使ってみたい ■興味がある □使いたくない ■使う必要はない □無回答



6) なんでも相談できる場所

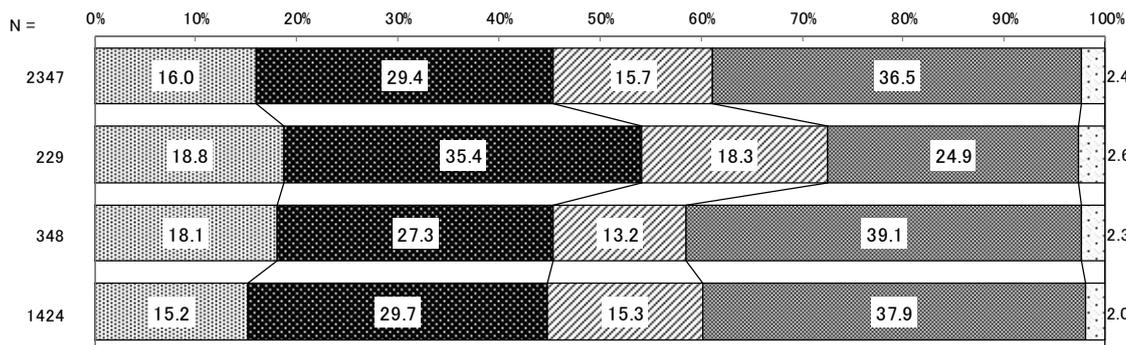
なんでも相談できる場所[%]

□使ってみたい ■興味がある □使いたくない ■使う必要はない □無回答



なんでも相談できる場所[%]

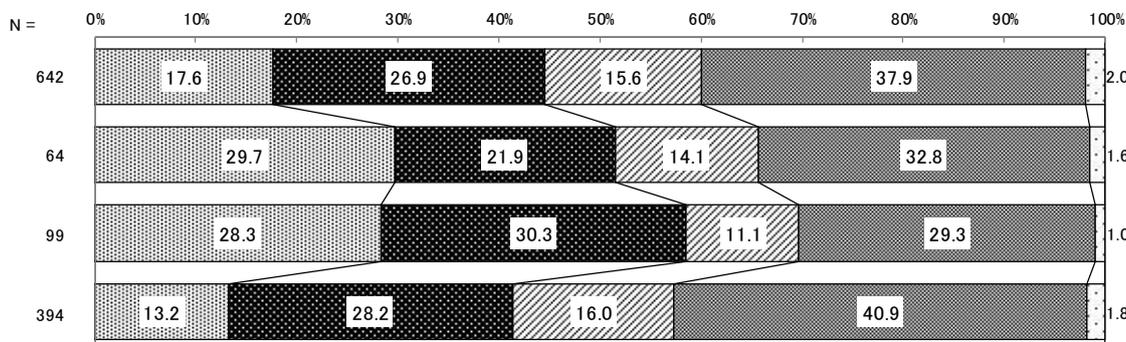
□使ってみたい ■興味がある □使いたくない □使う必要はない □無回答



7) 低額・無料で通信教育が受けられるサービス (16歳・17歳のみ)

低額・無料で通信教育が受けられるサービス[%]

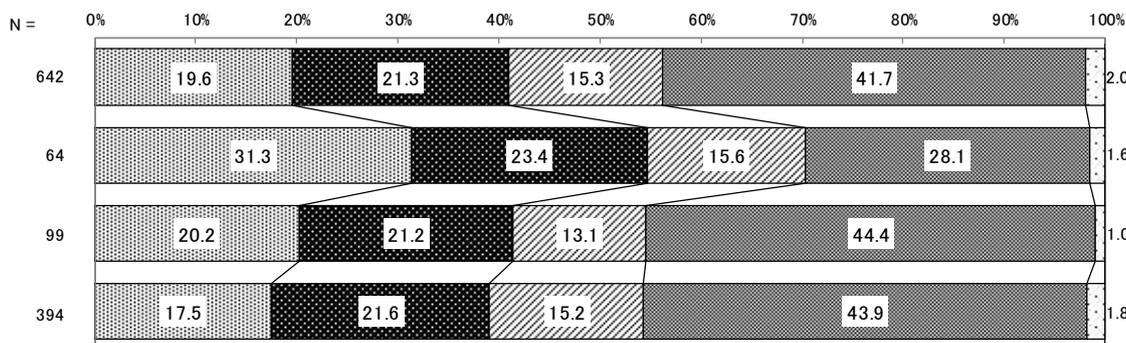
□使ってみたい ■興味がある □使いたくない □使う必要はない □無回答



8) 家から出て学校に通うことできる低額・無料の寮 (16歳・17歳のみ)

家から出て学校に通うことできる低額・無料の寮[%]

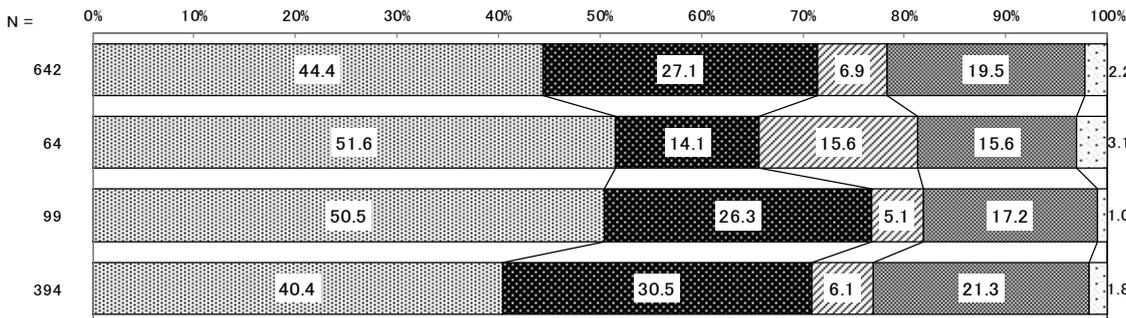
□使ってみたい ■興味がある □使いたくない □使う必要はない □無回答



9) 学校における無料の給食サービス (16歳・17歳のみ)

学校における無料の給食サービス[%]

□使ってみたい ■興味がある □使いたくない □使う必要はない □無回答



(9) 学校や仕事などに関すること (16歳・17歳のみ)

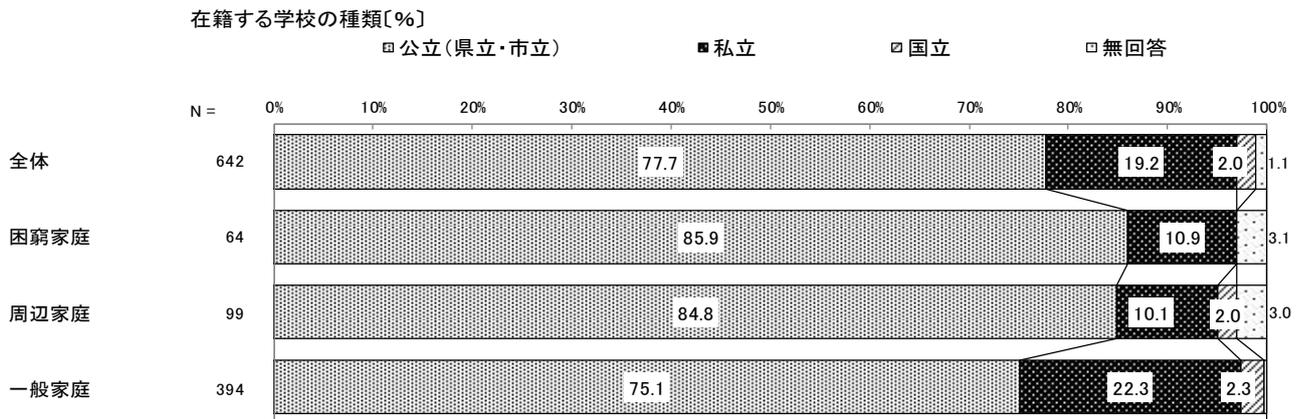
現在の通学先は、全体では「公立(県立・市立)」が77.7%と多く、困窮家庭は85.9%とやや多い。

仕事の状況は、「働いている(アルバイト・パートタイム・派遣・日雇い・正規雇用)」が全体では16.4%で、困窮家庭では働いている割合が高く、「給料の一部またはすべてを家のため(家族の生活費)に使っている」が34.8%と他の区分に比べて多い。

①現在の通学先

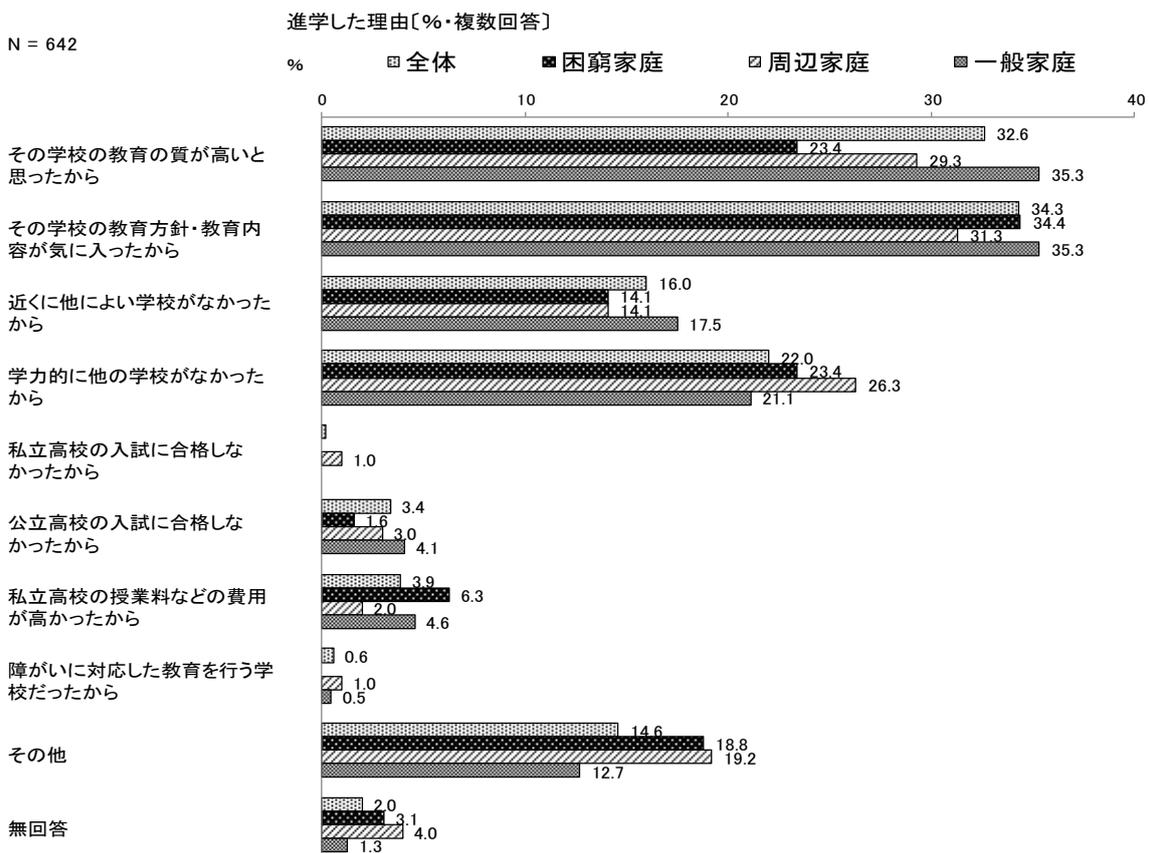
問 96 あなたの在籍している学校はどれですか。(16歳・17歳のみ)

「公立(県立・市立)」が77.7%と多く、「私立」が19.2%と続いている。生活困難家庭は「公立(県立・市立)」が85%前後と多い。



問 96-1 あなたがその学校に進学した理由はどれですか。(16歳・17歳のみ)

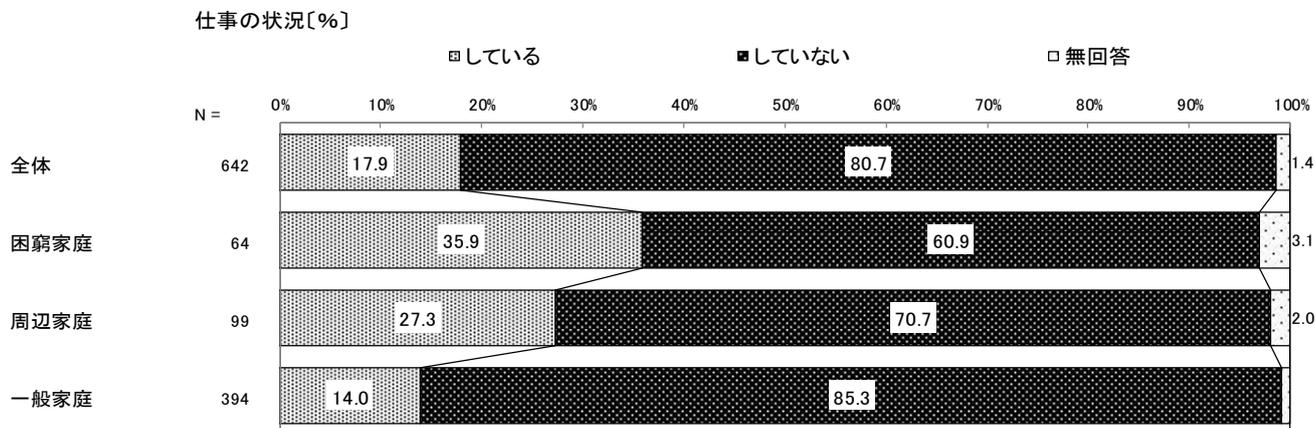
全体では、進学した理由は、「その学校の教育方針・教育内容が気に入ったから」、「その学校の教育の質が高いと思ったから」が30%強と多い。困窮家庭では、「私立高校の授業料などの費用が高かったから」が6.3%と他の区分に比べてやや多い。



②仕事の状況

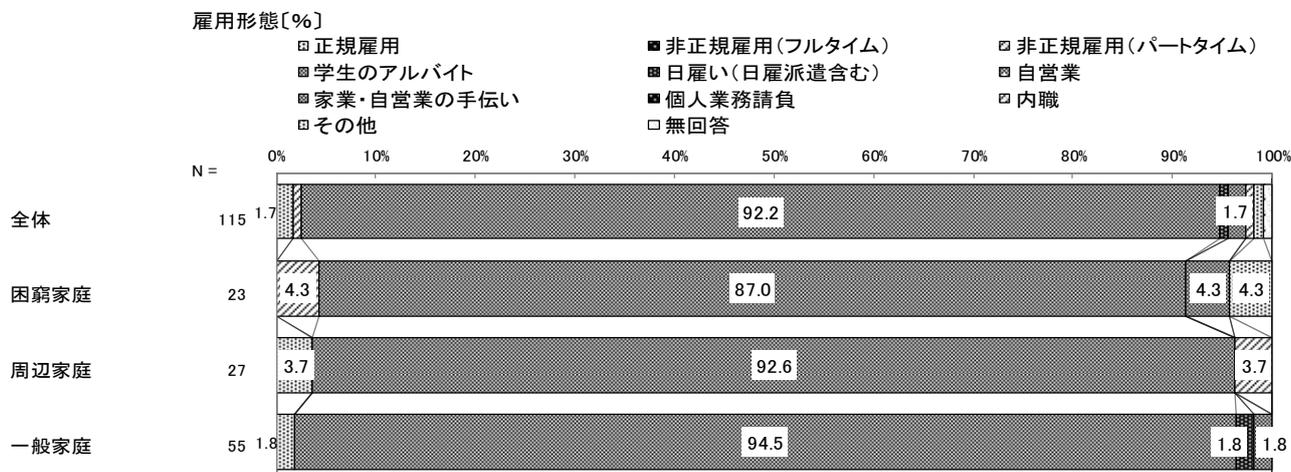
問 97 あなたの仕事の状況(学生アルバイトを含む)を教えてください。あなたは、収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしていますか。(16歳・17歳のみ)

「していない」が80.7%と多い。困窮家庭では、「している」が35.9%、周辺家庭では27.3%と一般家庭に比べて多い。



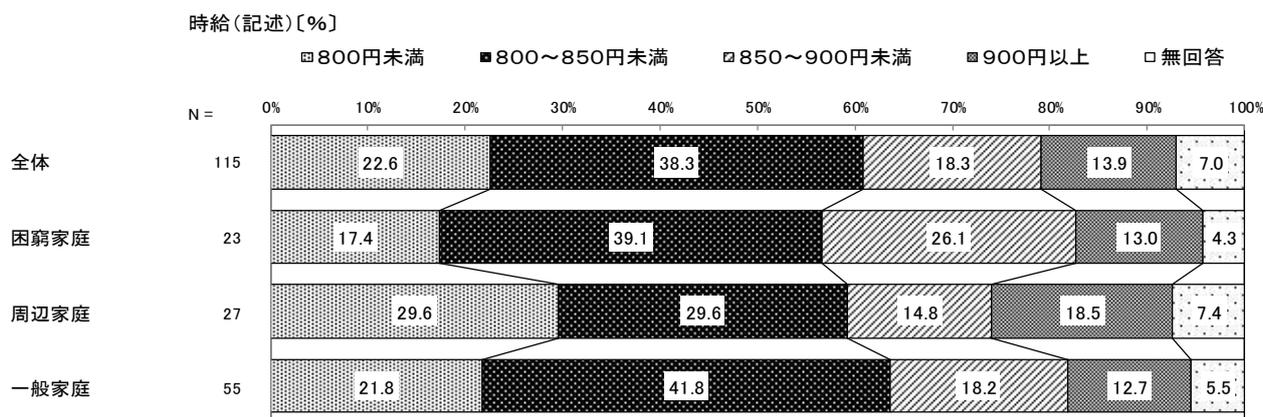
問 97-1 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方にお聞きします。あなたの現在のお仕事の雇用形態を教えてください。複数のお仕事をお持ちの場合は、主な仕事についてお答えください。(16歳・17歳のみ)

「学生のアルバイト」が92.2%を占めている。困窮家庭では、「非正規雇用(パートタイム)」「家業・自営業の手伝い」「その他」がそれぞれ4.3%みられる。



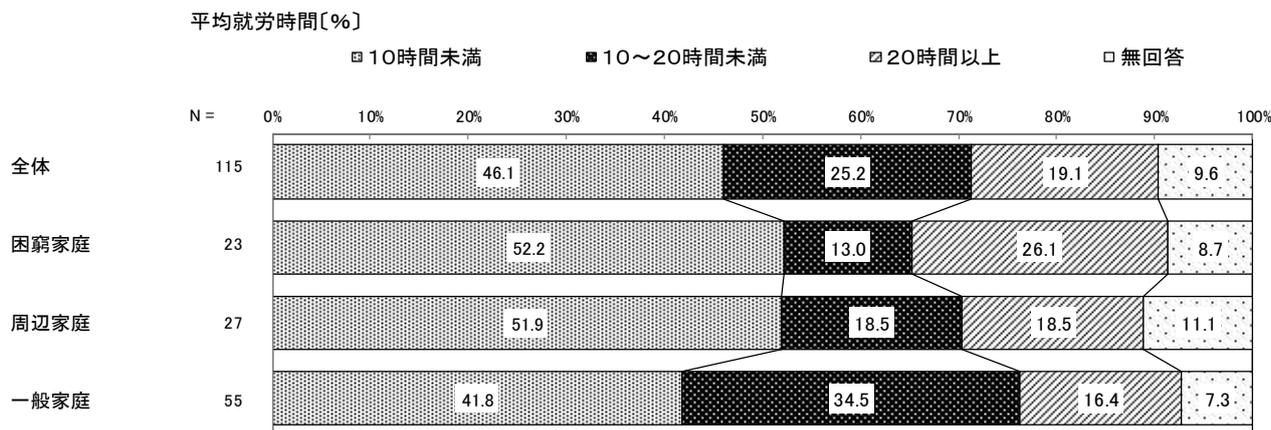
問 97-2 時給にするとどのくらいになりますか。(16歳・17歳のみ)

平均 824 円で 800～1,000 円に回答が分布している。



問 97-3 現在は、1週間あたり、平均何時間働いていますか。残業時間を含めてお答えください。

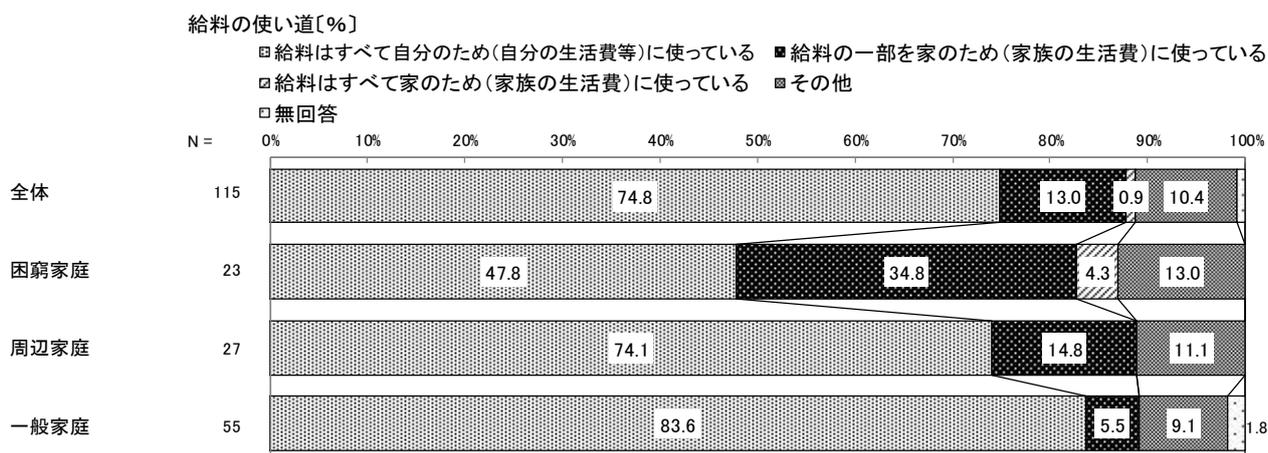
「10時間未満」が 46.1%と多く、「10～20時間未満」が 25.2%で、平均 12.7 時間となっている。困窮家庭と周辺家庭では、「10時間未満」が 50%強と多く、困窮家庭では「20時間以上」も 26.1%と多い。



問 97-4 収入を伴う仕事(学生のアルバイトを含む)をしている方全員にお聞きます。給料(アルバイト代)を何に使っていますか。

全体では、「給料はすべて自分のため(自分の生活費等)に使っている」が 74.8%と多い。

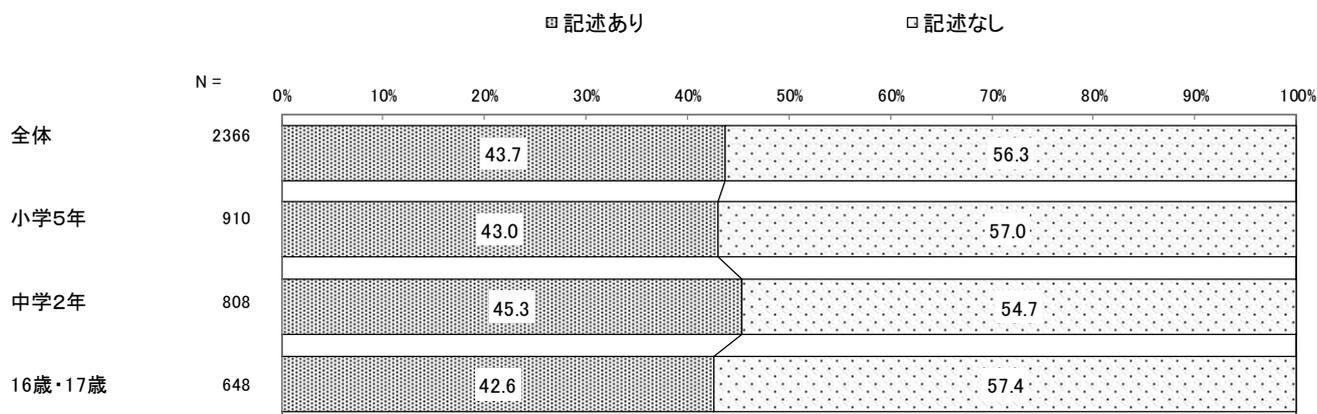
困窮家庭では、「給料はすべて自分のため(自分の生活費等)に使っている」が 47.8%と少なく、「給料の一部を家のため(家族の生活費)に使っている」が 34.8%、「給料のすべてを家のため(家族の生活費)に使っている」が 4.3%みられる。



(10) その他

問 98 あなたが、県や市町村に何でも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。また、日々の生活で感じていること、困っていることなどを自由に書いてください

「記述あり」が各学年ともに 40%以上と多い。



小5本人の主な意見まとめ(上位5項目)

順位	内容	件数
1位	学校生活について	88件
	・学校の設備をもっと良くしてほしい。 ・もう少し楽しい授業をしてほしい。 ・担任がいやだ。変えてほしい。	
2位	遊び場、公園、勉強場所、スポーツ施設について	87件
	・子どもが安心してきて危険のない所で身近で楽しい所がほしい。 ・大学生のお兄さんお姉さんが無料で勉強などを教えてくれる所や、困っている事や悩み事などを自由に話せるところがほしい。	
3位	社会への願い、将来の夢について	57件
	・誰でも幸せに暮らせるように世界が平和であってほしい。笑顔がいっぱいでありますように。 ・お金がない人でも勉強したい人は安く大学まで行かせてほしい。	
4位	地域の課題(イベント、道路等)について	47件
	・もう少し市のお祭りや行事を増やしてほしい。 ・歩道を作ってほしい。道路をきれいにしてほしい。	
5位	学校設備について	36件
	・学校を新しくしてほしい。学校のトイレを新しくしてほしい。 ・学校が暑いので、クーラーを設置してほしい。	

中2本人の主な意見まとめ(上位5項目)

順位	内容	件数
1位	学校、勉強について	30件
	・勉強についていけず困っている。 ・勉強をもっと分かりやすく教えてほしい。 ・宿題を減らしてほしい。	
2位	商業施設、観光について	29件
	・駅ビル、ショッピングモール、大型スーパー、本屋、コンビニなどをつくってほしい。 ・観光名所をもっと増やしたほうがよい。	
3位	遊べる場所、スポーツできる場所について	27件
	・子どもが遊べる場所が少ないので増やしてほしい。 ・バスケットボールができる場所をつくってほしい。	
4位	公共施設の整備について	26件
	・車で道を通るとき、狭い道が多くて通りにくい所が多くあるのもっと道を広くしてもらいたい。 ・公園、陸上競技場を整備してほしい。	
5位	学校の設備について	25件
	・学校にプール・体育館をつくってほしい。教室にエアコンをつけてほしい。 ・校舎やトイレをきれいにしてほしい。	

16～17歳本人の主な意見まとめ(上位5項目)

順位	内容	件数
1位	周辺地域に期待すること(お店、道路整備等)について	64件
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路にある段差やひび割れ部分を直してもらいたい。 ・外灯が少ないので、夜歩くのが怖い。 ・遊ぶ場所を増やしてほしい。 	
2位	通学(公共交通機関)について	52件
	<ul style="list-style-type: none"> ・電車の本数を増やしてほしい。 ・定期代が高いと思うので下げてほしいと思う。 	
3位	教員、授業について	45件
	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みをもう少し長くしてほしい。 ・高校の先生が全体的にやる気がないことと、生徒をばかにしてくること。 	
4位	学校設備等について	44件
	<ul style="list-style-type: none"> ・公立高校の冷暖房の設備。できれば建て替え。 ・高校が古くなってきて、夏は熱いし、冬は寒いし、トイレは寒くて、臭くて、せまくて使いにくい。何とかしてほしい。 	
5位	居場所(勉強場所、スポーツ施設等)について	36件
	<ul style="list-style-type: none"> ・帰り道とかに自習などができる施設をもっと増やしてほしい。 ・低額で利用できる運動設備があってほしい。 	

